

【地球は僕らの手の中】

ダーリン(男)
じゅんちゃん(女)
アキ(男)
サツ(男)
るい(女)
ひとみ(女)
あい(女)

一幕

どん帳が静かに上がる。
舞台には机にもイスにもなるような音がこぼれ、センターと上手にある。シンプルな舞台。
一組の男女。ダーリンとじゅん。ダーリンは何度もため息をつく。

じゅん ダーリン。
ダーリン え？

じゅん うるせー。
ダーリン あつ、コメい。でもせ、
じゅん ただでせえキモい顔なのに、さ割増したも。
ダーリン くるね。こんな時でも、くるね。直球だね。
じゅん クヨクヨしたって仕方ないじゃん。どうせ死ぬんでしょ？
ダーリン 死ぬよ？死ぬけども…。
じゅん けど何？
ダーリン どうして俺ってこうかなあ…って。
じゅん キモいからじゃない？
ダーリン 関係ある？俺の顔のキモさと、不幸なのって関係ある？
じゅん だってその顔に生まれついた時点で不幸じゃない。
ダーリン くるね。直球くるね。
じゅん だってそっでしょ？
ダーリン 念押しように同意求めなしたも。
じゅん だってそっじゃん。
ダーリン 分かったって。それはいいから、死ぬ前くらい俺の口子聞いてくれたらいいだろ。
じゅん 何？
ダーリン 何でこんなことになっちゃったのかわかって。

じゆん 責任だつて自分で言つて下さいよ。
ダーリン 責任だよね。
じゆん やめる？
ダーリン やめなさいよ。責任だもん。
じゆん 私はなにもダーリンがそこまでする必要はないと思つてよ。
ダーリン でも。
じゆん 何でダーリンが死ななまやうけならぬ？
ダーリン それは…。
じゆん 会社にも責任あると思つてよ、私は。
ダーリン いや、それはそつかもしれなければ。
じゆん どうしても死にたいの？
ダーリン そんなわけないだろ…。
じゆん じゃ、やめちやえは？
ダーリン そうもいかならぬ。マシエも引き払つちやつたし、専務に辞表と遺言書送つちやだから。
じゆん 遺言？
ダーリン うん。
じゆん 保険金で補てんしますつて？
ダーリン うん。

3

じゆん 会社が保険かけてなかつたのに、何でダーリンが命かけて保険金で補てんする必要があるのよ。
ダーリン だつて俺、店長だから。
じゆん 一日だけでしょ？
ダーリン それを言つなよ。
じゆん 支店長になれたら…同期の中じゃ俺が一番出世だつて大喜びして、まさか初日で銀行強盗にあつたなんてね。
ダーリン それを言つなつて。
じゆん いくら盗られたんだつて？
ダーリン 2億。
じゆん どの？本日は本社に呼ばれてるんでしょ？
ダーリン うん…。
じゆん 10のタイミンで投げだして逃げちやつたら共犯だと思われぬ？
ダーリン 嘘…。
じゆん いや、嘘つて…普通思つと思つて。
ダーリン でも…死んでおひるわけだし、保険金で補てんするし。
じゆん 保険金つていくら？
ダーリン 2億。
じゆん そういふ所はジャストなんだよね。ただし、本社が支店に保険かけてないなんてあり

4

得なくない。

ダーリン いや、普段はかけてあるんだけど、丁度更新月で、保険会社の見直しで一週間だけ空白が出来たんだって。

じゅん そのポイントの 一週間だったってこと。

ダーリン うん。

じゅん キモい。

ダーリン 関係ないよね。キモさは。

じゅん どうやって死ぬ。

ダーリン んー。

じゅん 二二の崖から飛び降りる。

ダーリン いや、それだと乗員が運れる可能性があるから。

じゅん その辺にある岩持って殴りあつて。

ダーリン 却下。……二二はやっぱり車を待つしかないかな。

じゅん 飛び込み。

ダーリン トライバーには申し訳ないけど。

じゅん こんな事で、飛び込み自殺できるほどスピード出して走る車来るかな。

ダーリン それは分からないうけど…。

じゅん そもそも何でこんな場所でバス降りたのよ。周り何もなしよ。

5

ダーリン いや、何かもう勢いでさ…。何も考えたくなくて。

じゅん 余計いろいろ考えちゃつても。こんな所で立ち往生しちゃったら。予定通り旅館まで行ければ方法もいろいろあったのに。

ダーリン コム。

じゅん でも、ま、仕方ないか。そつたよね。考えるのやダからいろいろダ々な動きしちゃつよね。

ダーリン じゅんちゃん…。

じゅん ちよつと、そんな顔しなうでよキモいから。

ダーリン じゅんちゃんー。

じゅん じゃあ、あそこのカーブから車が来たら一緒に飛び出せばいいのね。

ダーリン うん…。でもいいの。

じゅん 何が。

ダーリン 何もじゅんちゃんまで死ななくても…俺 一人でも。

そのセリフを聞いた瞬間、じゅんはダーリンの二の腕を殴りだす。

しばらくは耐えるがあまりに痛いので逃げる。

ダーリン 痛い痛い。じゅんちゃん、それ、地味に痛い。

6

ダーリン、じゅんから少し離れて

ダーリン 何？

じゅん 今度同じと言ったら、この太ももの肉と肉の間の痛みと口に膝けりして、もごと地味に痛み攻撃するからね。

ダーリン え？

じゅん ダーリン、私と結婚する時、何と言ったか覚えてる？「死んだ先でも「一緒にしよう」と言ってくれたじゃない。

ダーリン そうだけどさ。

じゅん 私も同じと誓ったよね？

ダーリン じゅんちゃん…。

じゅん 私、あの頃の気持ちと変わってないよ。ダーリンに対する想いそのままだよ。ダーリンは違っの。

ダーリン 何言ってるんだよ、じゅんちゃん。俺の気持ちが変わってるなんて、そんなことあるわけないだろ…！

じゅん 分かってくれた…？私達、思いは つなよ。

ダーリン じゅんちゃん…！

じゅん ダーリン…！

7

2人、手を取り合う。

じゅん でも、こつやつて眠ると、ぐぐしくキキらよね。

ダーリン 慣れて。そこはもう慣れてとしか言えようがない。

2人、手を離す。

ダーリン でも、じゅんちゃんがそこまで俺のこと頼ってくれたなんて意外だなあ…。

じゅん そ？

ダーリン だって俺に不幸なことがあると、いつも満面の笑み浮かぶじゃない？

じゅん うん。ダーリンに不幸なことがあると楽しいから。

ダーリン 楽しい？

じゅん あ、でも誤解しないでね。誰でも不幸になって楽しいってわけじゃなくて、ダーリンが不幸になることが楽しいんだから。

ダーリン 余計始末におえないよ。何で俺限定なんだよ。

じゅん 似合うから。

ダーリン くるね。やっぱ今日はくるね。

じゅん まあ、ダーリンの不幸だけって言うちやうと嘘になるかな。ダーリンの不幸を見るのが群を抜いて

8

一番楽しみに訂正するね。

ダーリン いらないよ、そんな最終宣告みだいな訂正。様はじゅんちゃん、性格がシネしてくれてるって話でしょ。
じゅん そんなことならわよ。純粋よ、私は。
ダーリン じゅんが。
じゅん 純粋に他人の不幸が楽しいだけ。
ダーリン だから茶計始末におえないって。……じゅんちゃん、他人の不幸は？
じゅん 蜜の味。
ダーリン 普通切り返せないって、このスピードで。常々思ってたまきや切り返せないって。
じゅん お腹すいたかも。
ダーリン うわ、すっごく目田。
じゅん 何か食べ物持ってる？
ダーリン コメ。何も持っていないよ。
じゅん そっか…。まあ車が来るまで我慢するが。

じゅん、その場にしゃがみ込む。ダーリンは車が来ないか左右を見渡す。
車は来そうにない。ダーリン、ため息をつく。

ダーリン これで夫婦心中したら新聞の二面飾っちゃったのかな？

じゅん 明日の二面は銀行強盗じゃない？って憶でしょ？
ダーリン そっか、そっだよね。
じゅん それに付随する関連記事扱いでしょ。「一日店長、責任を取って自殺」とかっで。
ダーリン 一日署長みだりに言うのやめてくれる？ちゃんと辞令もらったんだからよ。
じゅん 辞令もらってすぐ辞表書くことになるなんてね…。本当、ダーリンは外そならよね。
ダーリン 俺の不幸ネタはもういって。それよりじゅんちゃんは「このままでいいの？
じゅん このままでいい。
ダーリン 俺はさ、じゅんちゃんと一緒になれたし、仕事も一日とほい支店長まで行くことできたから、まあ、満足といえば満足なんだよね。じゅんちゃんは大学出てからすぐ俺と結婚しちゃったじゃない？夢とかなかったのかなあって…。
じゅん 夢？
ダーリン 夢。
じゅん 夢ねえ…。
ダーリン え、全然ないの？
じゅん ドラえもんがほしかった。
ダーリン おかしらでしょよ、この流れでズシに夢の話してどうするの。そっかやなくて、なりたかったま、とかっでないのって聞いてんの。
じゅん なりたかったもの？なんかあったらけなあ。……あ、保姆さんになりたかった。

ダーリン 保母さんさへ、じゅんちゃん子供好きだっけ？
じゅん そこそそね。
ダーリン じゃ、やつてみようよ。
じゅん ……え？
ダーリン やつてみようよ。
じゅん やつてみようって？
ダーリン 俺もじゅんちゃんの為になんかしたじからぞ。お互いなりまのやつてみようよ。
じゅん 正気？
ダーリン 汚物を見るような目で見ならだよ。俺なりに何かしたじから言ってるだけなんだから。
じゅん 本気でやつてみる？
ダーリン やつてみようよ。
じゅん じゃあ、ダーリン喫茶店のマスターやつて？私そのマスターに懇ろをもせてる世話のお客やるから。

11

2人、設定に入ろうとするが、

ダーリン じゅんちゃん、ナチユルにホケるやめ。俺今普通に「いらんしゃらませ」とか言う所だった。
じゅん じゃあ、ダーリン新人飼育係やつて。私、携帯で写真撮られることに疲れたカピバにやるから。

ダーリン、設定に入ろうとするじゅんを止めて。

ダーリン 保母さんは…保母さんやれよ…なりたかつたの保母さんじゃなしの？
じゅん 保母さん。
ダーリン でしょ？何だよ、写真撮られることに疲れたカピバにやつて。しーやるつもりだったの。

じゅん、「写真を撮られることに疲れたカピバ」をやる。

ダーリン あら？

ダーリン、何か言しかけるが、じゅん、ダーリンの二の腕を殴る。

ダーリン コマッなまじ。
じゅん じゃあ、ダーリンは園児をやつて。私、保母さんやるから。
ダーリン 分かった。

2人、設定に入る。

12

ダーリン 先生、先生！・・・じゅん先生・・・
じゅん 何だい、二活じかきだね。
ダーリン え・・・。
じゅん 気安く呼ぶんじゃないよ・・・からっく・・・
ダーリン そんな保母さん見たことないよ。
じゅん 相手してほしけりや金持っておいで。
ダーリン ちよつと、暴走するの止めてくれる？
じゅん 何？
ダーリン 何じゃないよ。そんな保母さん見たことないつて。
じゅん (うんうん)今の保母さんみんなこんなもんよ。
ダーリン ぶしのトーンで大嘘つくのやめてくれる？子供好きなんだしよ？おやさん相手してあげてよ。
じゅん 分かった。

2人、設定に入る。

ダーリン 先生、じゅん先生・・・
じゅん どうしたの？

ダーリン 僕ね、蝶々つかまえたの。
じゅん へー。蝶々？
ダーリン ほら・・・

ダーリン、マイムで蝶々を出す動き。

じゅん ばんー。

じゅん、その蝶々を両手でたたく。

ダーリン ばん・・・つかまえた蝶々をばん・・・つて、シングルすぎるだろ。
じゅん ぱくつ・・・
ダーリン 喰うなよ、蝶々を・・・子供トウウツになるぞ・・・
じゅん うるさいな。子供のあやし方なんて人それぞれでしょ。
ダーリン うん。まず全国の保母さんに謝る所からはじめようか。
じゅん 一人くらい個性的な保母さんがいたほつがいらんだつて。ルールは破るためにあるんだしよ。
ダーリン その考えがすでに保母さん向きじゃないよね。せめてもつちよつとあつちよつと対応してよ。

2人設定に入る。

ダーリン 先生、じゅん先生……

じゅん (優しく)なあに？

ダーリン いいね、そんな感じ。僕ね、一人でトイレできたんだよ。

じゅん そっか、偉いねー。

ダーリン いいよ。やれば出来るじゃん。僕ね、ケンシ君とタカシ君のケシカを止めて仲直りさせたの。

じゅん そっか、偉いね。

ダーリン 完璧じゃん。僕ね、ヨシ子ちゃんがタケル君の1号好きだっけっから応援してあげるのー。

じゅん それはどうかしら。

ダーリン え……。

じゅん ヨシ子ちゃんのお父さんがタケル君のお母さんとトキてるって噂が流れて、前からヨシ子ちゃんのお父さんを狙ってたミル君のお母さんが結構怒ってたんだけど、ミル君のお母さんは婦人会の会長やっててこの辺の主婦をたばねている人なのね。そんな人に目をつけられてるタケル君のお母さんは今、ハイローヤ状態。そんな時、優しく声をかけてきたのがケイコちゃんのお父さんだね。

ダーリン 何の話してんの……幼稚園に親のトトロ口持ち込みならだよ。

じゅん それに輪をかけてうちの園長先生が、

15

ダーリン 輪をかけなくていいって……何で園長先生が出てきてんの。

じゅん さらに栄養士が、

ダーリン いいって……何、栄養士って。栄養士はピタタタの1号考えてるよ……

じゅん ピタタタ？

ダーリン ピタタタとかカルシウムとかの1号考えてればいいでしょ？何なの？じゅんちゃん本当に子供好き？

じゅん 嫌い。

ダーリン じゃ駄目じゃん。子供嫌いな人が保母さんやつちや駄目じゃん。何で保母さんになりたしなんて言ったの。

じゅん 看護婦にする。

ダーリン うわ、すごい自由。今のやりっぱなし？

じゅん 私、看護婦やるから、ダーリン、30代の中小企業の2代目社長で、奥さんと子供2人。従業員10名ほどで、資金繰りに苦しんでる所に買が入ってしまった患者の役やって。

ダーリン リアル……設定がもの凄くリアル。俺、人生 5年間違ったら、絶対それに近い状態になってる自信あるもん。

じゅん じゃ、やってみましょ。

2人設定に入る。

16

ダーリン 看護婦さんよお！ー俺、話があるんだよ。
じゆん どうしました？
ダーリン 俺の病名教えてくれよ。
じゆん はい？
ダーリン 家族も医者もあんたら看護婦もみんなケルになって俺に嘘ついてんだ！なあ…本当のことを教えてくれよ！俺…俺、本当はガンなんだからー
じゆん はい。
ダーリン いやいやいや…はいつて…
じゆん ガンです。あなたは正真正銘のガンです。
ダーリン 言っちゃ駄目でしょーよ。
じゆん キモいガンです。
ダーリン 何、キモいガンで。
じゆん キモいガンです。キモいガン。
ダーリン 何で2回言うの。ま、とりあえず告知しちゃったわけだからね？ガンで知った患者は弱気になつたりするんだよ。

2人、設定に入る。

17

ダーリン あれ見て下さい。窓の外の木…。あの木の葉っぱが全部落ちる頃に俺の命も終わりを告げるんですね。
じゆん 超ウケる。
ダーリン ウケるって何だよ。笑わせてるつもりならいい。
じゆん どんだけお気楽なんだよって話でしょ。
ダーリン え、もつと早いの？猶予ないんだ。
じゆん すいません。もつともつと予定前倒しでお願いします。
ダーリン やだよ…
じゆん 巻きでお願いしますよ。巻きで。
ダーリン 人の命、業界用語で終わらそうとするのやめてくれる？せつかくなんだから、手術して助かったようにしようよ。
じゆん えー、生きたいの？
ダーリン せめてお遊びぐらゐ幸せにしてよ。
じゆん はいよ。じゃ、手術して助かったようにしようか？
ダーリン で、俺はぞ、最初は心を閉ざしていただけ、長い入院生活で考えが変わる訳ですよ。じゆんちゃんの献身的な看護と優しさに慣れてね。無事手術が成功して、元気になるまで、いよいよ退院の日。廊下でバツタリ俺に会って「言」

18

じゆん チカ、あかん。

ダーリン そこのまでの元気はないよーつし最近まで死ぬか生きるかの瀬戸際だったんだから。

じゆん だつてやりそこじゃん。

ダーリン 顔で判断しないでくれるとそこじゃなくて、選院する患者に向かってかける 一言。

じゆん お前はもう、死んでいる。

ダーリン 選院するの……元気になつたの……

じゆん いつよにホトトもいかがですか？

ダーリン まだ無理……言が受けつけないうも……

じゆん オッス……オの悟空

ダーリン 今さら自己紹介かよ……

じゆん オうに元気を分けてくれ。

ダーリン まだ無理……死んじやつよ……選院する患者にかける 一言だも、定期検診取れずじ、とか元気になつて良かったですねとかあるでしよとじゆんちゃんなりの 一言。ちん、はじ。

2人 チカ、あかん。

ダーリン 言つと思つたよ。

19

じゆん、上手の方を見る。

ダーリン やつぱりじゆんちゃん看護婦にならなくて正解かも。いいでじゆんちゃん。看護婦つて白衣の天使とか言われてるけど、それはそれはハードな仕事になつて大変なんだよ。機嫌が悪く時だつて患者の前では笑顔でいなまやいけなかつたりするしよ。

じゆん 飽きた。

ダーリン いいね。その自由なスタイル。

じゆん ねえ、あれ車じゃない？

ダーリン え？

じゆん ほら、あれ。車でしょ。

ダーリン あ、本当だ……

じゆん 2台来てるさずいぶロードだよ。ちゃんじゃない？

ダーリン じゃ、いつせーのーで……で行つた。

じゆん 分かつた。

ダーリン じゆんちゃん。今までありがとう。楽しかつたよ。不幸な人生ではあつたけど、笑つて死ぬるのはじゆんちゃんのおかげだ。

ダーリン、じゆんちゃんの手を取る。

じゆん 私も。キモいし、不幸だし、外さないし。日常生活抱くつてただけなのにホタまみれのダーリンは

20

本当、おかしくておかしくて騒音だった。

ダーリン 心情的には若干複雑だけど、まあいいや。ありがとつ。…じゃ、一緒に。

2人、飛び込む準備。車の音が近づいてくる。凄まじい音。

じゅん あ、でもさ、いっせーのーでって実際はどのタイミングか？

ダーリン え…？

じゅん で、のタイミングで行くのーでって言うてから、どうもおぼくのー

ダーリン 何で今、そんなこと聞くの、どっちでもいいでしょ…

じゅん でも、タイミングがズレると一緒に死ぬかもしれないじゃん。

ダーリン じゃ、で、で行くから。

じゅん で、で行くって、同時ってこと？

ダーリン で、で行くってば…来るよ来るよ…

じゅん だから同時ってこと？

ダーリン そうだって…ああ、来た…

じゅん じゃ、同時に行くのね？

ダーリン ああ、間に合わないう…で…で…で…で…で…

2人 で…

2人、飛び込むところ。暗転。

車の急ブレーキ音。まぐに衝突音。

二幕

暗転の中、銃声と悲鳴。音、フェードアウト。

覆面をしたアキが上手から入ってくる。

アキ おいさつ…早くしろ…

上手袖のさつぐ呼びかける。

覆面をしたさつ、大きなホストバッグをかかえ、上手に銃を構えながら入ってくる。

アキ カギ持ってるのお前だろつが…

さつ ちよつと待って下せう。今、出しますんで…

アキ カバ…よ…せ…

サツ、アニキにカギを渡す。ポケットからカギを取り出す。センターの台は車変わり。サツ、台の下手側に回り、車のキーを回す。アニキとサツ、すかさず車に乗り込む。

アニキ おい、早く出せ……

サツ 分かっています……任せてください。

サツ、エンジンをかけ発車。アニキ、後方を確認。
誰も追ってきていないことが分かり、前を向く。
サツ、覆面をとりながら

サツ 計画通りですね。

アニキ まあな。

アニキも覆面をきる。

サツ 案外、うまくいくもんですね。

アニキ まだ油断すんなよ。逃げきれたわけじゃねえんだからな。

サツ いやー大丈夫ですよ。車乗っちゃえばこっちのモンじゃありませんか？

アニキ 警察が動きだしているとして 二斉包囲網がしかれるまでの30分くらいか……。その前に高速度にのれば俺達の勝ちだな。

サツ じゃ、一番近いインターから……

アニキ いや、その前に寄る所がある。

サツ え、どこですか？

パトカーの音。2人、音の方を見る。パトカーは対向車。
しだいに音が小さくなる。それに合わせて2人、後方を見る。

アニキ おい、前見て運転しろよ。

サツ あ、すみません。

アニキ、大きくため息。

サツ で、どこに寄るんですか？

アニキ 道は俺が案内すつから。……どうもええ子じいさま、真つすぐ行け。

サツ はい。

アキ、タバコを探すが見つからない。

アキ チッ。サツ、タバコ持ってるか？

サツ いえ、自分吸わないんで。

アキ ああ、そつが。

サツ コンビに寄りますか？

アキ ガマンするよ。少しでも距離かせいだ方がいいだろ。

サツ そつすね…。

サツ、運転を続ける。アキ、大きくため息。

サツ、アキをチラチラ見て。

サツ アキ、すみません。

アキ だからガマンするからいらつこつ言ってるんだろ。

サツ いや、タバコもそつなんすけど…。その…自分の///スでアキにも危険を冒し行かせちまひたし…。

アキ もう言つな。ケシメはつけたろ？

サツ 荒木さんにホロホロにされたろ？

アキ おお、荒木さんか。ラッキーだったな。あの人加減知ってるから。鯨島さんだったら今頃点滴こつてるぞ。

サツ オジキにも言われました。

アキ ラッキーだったな。

サツ いやー、自分がラッキーだったのは自分の世話役がアキだったことじつすよ。

アキ 何言ってるんだよ。

サツ 又つすよ。又つでそう思ってますつて。俺のために犯罪まで…

アキ 馬鹿野郎。お前のためじゃねえよ。

サツ え？

アキ 俺自身のためであり、組のためだよ。

サツ え、そつなんすか？

アキ まあ、結果お前のためにもなつたけどな。

サツ …アキ、もしかして、照れてるんすか？

アキ 照れてねーよ。

サツ 又つ、自分がラッキーだと思ってますつから。

アキ 分かつたつーの。

サツ …はい。

しばらく黙って運転。

アキ あの信号、左な。

サツ あ、はい。

しばらくしてハイカーを出す。左に曲がる。

アキ しつかし、どこのどいつなんだろうな。

サツ え。

アキ ヤクザの事務所に泥棒に入るなんて、一度胸してるぜ。

サツ アキー。それはもう言わなうで下さうよー。

アキ 全然気付かなかつたんだろ。

サツ いや、不思議なんすよね。自分、夜型人間なんで、深夜の見張りはむしろ得意なはずなんすけど・・・何か寝ちやつたんすよね。

アキ そういえばお前、寝起きもいもんな。

サツ はい。基本眠りが浅いんで、少しの物音で目が覚めるんすよ、普通なら。まこと何か薬とか嗅がされたに違いないつす。

アキ 薬ってお前・・・ルパン三世じゃねえんだから。

サツ いや、でも夜の見張りは得意なはずなんすよ。でも寝ちやつたんすよ。

アキ で、金を盗まれたと。

サツ アキー。

アキ まあいじやねえか。何とか用意できたんだ。方法はとつであれ金は金だろ。

サツ つすね。

アキ その先、右な。

サツ はい。

サツ、ハンドルを右へ。

サツ そういえば、こんな大金、何に使うんすか。

アキ オジキから聞いてねえのか。

サツ はい。「どうしても必要な金だったんだぞ」って怒られただけつすから。

アキ 三枝先生知ってるんだろ。

サツ ウチの弁護士つすよね。

アキ の息子が今度の選挙に立候補するんだと。

サツ 軍資金つてよくつすか。

アキ ああ。

サツ ヤクザの弁護士やってる息子が選挙出ていひんすかね？
アキ その辺のネタは絶対にいひないうちになまやうけねえだろつな。時期がくりやネタつらうし俺達
が動くことになりそつだ。
サツ また面倒な仕事が増えそつですね。
アキ 面倒なのはお前だけだつな。
サツ そりやないつよー。
アキ そこ左な。

サツ、ハンドルを左ぐ。しばらく黙る。
と、アキ、ちよつとだけクスツと笑つ。

サツ ……何すか？
アキ え？
サツ いや、今、何かクスツで。
アキ ああ……何つーか、連鎖するもんなんだつて思つてよ。
サツ はい？
アキ 犯罪つーのは連鎖するもんなんだつて。
サツ 連鎖…。

アキ ウチに入った泥棒が金を盗んで、その金がなくなると困る俺らが強盗やつて…。
サツ じゃ、俺らのせいで新しい犯罪が生まれることよすか？
アキ そうかもな。結局、その連鎖を断ち切るには、人間が死ぬしかねえんだよ。
サツ 生き残った人間が一番強くて悪党つことよつすね。
アキ ま、それは言つても…俺達は極道だからな。
サツ つすね。

サツ、後部座席のホストバッグを手つくと見て

サツ ……ねえ、アキ。
アキ ん？
サツ もしもつすけどね。
アキ 極道がもしもの話すんな。
サツ いや、聞いて下せしよ。ちよつとだけ。
アキ もしもの話なんだろ？
サツ そうなんすけど、聞いて下せしつて。
アキ ……何だよ。
サツ もしこの金がアキのだったらどうしすか？

アキ は。
サツ 何に使います？
アキ ガキみてえなもしもの話だな。
サツ 違いますって。ガキみてえすけど、リアルにリアルに大金があるわけじゃないですか。
アキ あつたつて俺の金じゃねえだろ。組の金だし、すぐに三枝先生の金になる。
サツ ……例えば……これで会社とか作れないですかね。アキが社長で。
アキ は。
サツ だってアキ頭良いじゃないですか。度胸もあるし。今回の強盗計画なんてる口つすよ、下調べも実行も含めてる口。しかも成功してるし。
アキ まだ逃げまわらなわけじゃねえだろ。
サツ 前から思ってたんすよ。アキには社長になる器があるって。
アキ 俺もその気がならわけじゃねえけど、ゆくゆくな。
サツ ……ゆくゆくですか……。

サツ、アキを手づかみして尻で、ポストバッグを手づかみして取る。

アキ サツ、ダメエー。
サツ いやいやいや、もしもの話ですって……やめて下さいよ。もしも、もしもですって……ね？

アキ ……当たり前だ。
サツ ただ、アキが会社作るなら、自分と一緒ついでに行きまわって、そろそろ口つすよ。
アキ お前がついて来ても役に立ちそうもなわけだな。
サツ アキ〜。
アキ おい、そこ、車止める。
サツ はい。

サツ、車止める。二人、車から降りる。ポストバッグはアキが持つ。サツ、伸びをする。

サツ で、どこに行くんですか？
アキ 駐車場だよ。
サツ 駐車場？
アキ この先の駐車場にもう一台車を止めてある。乗り換えるぞ。
サツ 何でまだ。
アキ あの騒ぎだ。俺達が車に乗る所を見ていた歩行者が何人がいると考えるのが妥当だろ。たとしたらナブー控えられてる可能性もある。車種も色もな。
サツ あ、成程。
アキ だとしても高速乗ったつて意味ないだろ。

サツ　　つすね。やつはアニキ、頭取つすよー…

サツの携帯が鳴る。画面を確認するサツ。

サツ　　オジキつす。

アニキ　貸せ。俺が出る。

サツ　　あ、はいつす、はいつす。自分、報告してきますんで。

アニキ　じゃ、時間ねえから俺は車取つてくんぞ。

サツ　　すみません、お願いします。

アニキ　手短かに報告しろよ。オジキ、まだるっこしいの嫌だからよ。

サツ　　はい。

アニキ　あー、やつは重いわ。

アニキ、サツにポストバッグを渡す。

アニキ　今度は盗られんなよ。

サツ　　アニキ〜。

アニキ、下手くはける。サツ、電話に出る。

サツ　　おすー！お疲れ様です。あ、すみません。いや、遅つすよ。アニキに話しかけられたんで電話に出るのが遅れたんです。オス。…オス。成功しました。ご褒みあります。え、いや、そんならいんすよ。アニキのミスをつまろーすんのも各弟の務めつすから。尊厳はシツカリしてるんすけどね。たまたまにホカしちゃつすよ。見張り中に寝ちやつなんてガキじゃならんすからね。あ、オジキ。自分がアニキの身変わりになり木さんにホカられたこととはみんなには内緒でお願いします。アニキの立場なくなるんで。…いやー、自分アニキ好きつすから。え、メシ誘つてくれるんすか？でもアニキですらオジキとは飯食つたことならんすよね？はいんすか？あ、おす。コチになります。じゃ、つまく逃げて事務所戻りますんで。

サツ、電話を切る。ポストバッグを見つめる。

空を見上げて何かを考えているサツ。やがて、携帯をかける

サツ　　あ、オジキつすからサツです。今、アニキが換えの車取りに行つてます。いや、一位だつす！一控えられたり車種とか色とか押さええられたりしてる可能性があると思つたんで、自分が用意してきました。……うん、ええ、大したじやなつすよ。……とらでオジキ。極道がもしもの話じゃあかんどうつすよ。はもーく分かつてるんすけどもね。おもつと聞いてほしんすけど、はい

か？ ……あのですね、もし、今回の強盗失敗したらアキはどうなつてたんですか？破門するか？……あ、もっと重い……。ですよ。この金、三枝先生に渡す金だつて話だつたと思つてすけど、三枝先生は今回の強盗が自分らだつて知りませんよね？……ええ。で、ことはですよ。アキ始末して、三枝先生へスシ運ばばチャラですよ。俺、他のことに使えますよね。今、この稼業も不景気じゃないですか。そんな時、オジキが総長に億持つてたらどうなります？もう一人の次期総長候補の後藤のオジキを蹴落とすことが出来るんじゃないですか？……え、いや、これは身内殺しじゃないつすよ。ミスつたら責任取るの当り前じゃないつすか……。オス、勿論もしも話つすよ。当り前じゃないつすか。……で、オジキは「のもしも話、好きですか？……そつすか、好きですか。オス。……オス。じゃ一回オジキの家へ行きます。え、大丈夫つすよ。チャカ持つてんの自分なんで。ええ、アキは手ぶらです。……オス。……そつですよ、もしも、です。でも…

35

サツ、電話を切る。銃の確認をする。伸びをする。
アキ、下手より入ってくる。運転席側まで来て。

アキ サツ、乗れ。
サツ あ、はい。……自分運転しますよ。
アキ いや、いい。お前、三枝先生の家知らねえだろ。

サツ え？三枝先生んと直接届けるんすか？
アキ ああ、早い方がいいだろ。ただでせよ約束の日から二日も遅れてんだ。
サツ えーと……いや、それがですね……その……。
アキ 何だよ。
サツ オジキが一度、家に来てつて言つてるんすよ。
アキ は？
サツ 一度、億を確かめたいらしいんすよ。俺。
アキ 確かめてどうするんだよ。
サツ いや、そこまではわからないんすけど。……オジキが三枝先生に直接届けるようなことを言つてましたけど。
アキ 馬鹿言つなよ。オジキが三枝先生のこと嫌いなもの知らねえのか？だから、俺が頼まれたんだ。
サツ え、あ、そつなんすか？
アキ そしたら、たつた一晩の見張りをお前がミスつたんだろつが。
サツ アキ、それはもついでじゃないつすか？
アキ オジキもどういつつもりなんだ。今更さ億確かめてどうするんだよ。サツ携帯貸せ。俺が直接話をする。
サツ あ、その今、オジキ幹部会で忙しいらしいんすよ。こっちからは電話すんなつて言われてます。
アキ 幹部会か……。仕方ねえな。……どうする？この道右へ行けば三枝先生の家で、左に行け

36

はオジキの家だ。近頃は三枝先生の家だが……。

サツ アニキ、オジキの言うとおりにした方がいじでまっつ。だぶん、オジキは三枝先生のこと嫌ってるから、その憶をキチンと確認して直接渡したらんじやないすか？と日選れてる分かつつと詫ひ入れてこれ以上キチンとキチン言われないうちにケシメつけるつもりじやないすかね？

アニキ なるほど……その可能性はあるな。

サツ 極道は賞し作るのが嫌いだからね。

アニキ ……そつだな……。じゃ少し遠くなつちまつが、オジキの家へ行くか。

サツ つすね

アニキ、エンジンをかけ、発進。左へ曲がる。

サツ、ポストバッグを後部座席へ。しばらく黙つて運転

サツ アニキ……。

アニキ ん？

サツ ちつちつの話なんすけどね。

アニキ ちつちつの話？

サツ アニキが会社の社長になるつやつ……。。

アニキ ゆくゆくの話か？

サツ いや、今すぐなんすけど……。。

アニキ サツ？

サツ いや、もしもすよ

アニキ もしもの話はすんな？

サツ もし、兄貴が100の金で会社作るつとつなら、100の遣じやなくてもいらなつとつ黙つてまっつ。やつは基本アニキが好きなんだ。

アニキ 何言つてるんだお前？気持ち悪いいな。

サツ いや、何だかんだで、アニキには世話になつたじ。

アニキ 100の金はキチンとオジキに届ける。これ以上、その話はすんな？

サツ そつすか……。まあ……。それならそれで仕方ないすけどね。

二人同時に前方を訝しむ。

サツ あれ？……警察つすか？

アニキ 検問だな？

サツ ポストバッグ――

サツ後方のポストバッグを取らつとするが……。

アキ 間に合わねえー。さつ、余計な動きはするな。

アキ、パワーウィンドウを開ける。

アキ どうも……。どうしたんですか？……銀行強盗？怖いですねー。なに怖いな？

アキ、さつに話を振る。さつ、後部座席のホストバッグをさつと見せる。

アキ なあつてー。

さつ え？

アキ 銀行強盗だつても。怖いな。

さつ え？……ええ。そつとすね。

さつ、やっぱり後部座席のホストバッグが気になる。

アキ それで検問ですか…大変ですね。でも車種とか色とか分かってるんじゃないんですか？……ああ、やっぱり。……どんな車ですか？……いや、見てなつたですねー。なあ？

さつ、ホストバッグを気にしている。

アキ なあつてー。

さつ え、あ、ああ、……そつとすね。見てなつたです。白のカローにない？

アキ 馬鹿！……え？ああ、いや、いつ、僱員がすいすいしたつても。カローにいついたら白じゃなつたか。だからですよ。なあ？

さつ、ホストバッグを気にしている。

アキ あ、もういいですかね？先急いでるんですけど。え、あ、ロイツのお袋さんが入陸したらいいですよ。……だろ？

さつ ……え？ええ、まあ……。

アキ え、あ、これですか？

アキ、警察にホストバッグのしを聞かれたらつ。

アキ だからお袋さんの着替えとかですよ。何か気になります？ ……ロイツが、別に気にしてなつても

な？……な？

サツ ……え？……ああ、はい。全然気にしてないですよ。

アキ アジですかー。いや、ドイツのお袋さんのすから。……まあ、ドイツがイイト言えはらうのかも知んないですけど……やつはアキよな？

アキ、中を見せると言われてるらしい。最終的にかつに振る。

サツ え、あ、その……まあ、そつすね。

アキ だよなー。え？何すか？別に怪しくなってますよ。……ちもち、……アジですか？聞いてるんですけど。なあ？

サツ お袋ー！

アキ 落ち着けてーホラ、ドイツ母ちゃんが心配なんすよ。いや、だから怪しくなってます。まあ、イイんですけどね……分りましたよ。

アキ、じぶんのお財布を返さないと後ろを回く。

サツ、オロオロしつつ、警官とアキを交互に見る。

やがて極まったサツが大声を出して発砲する。

サツ アキ！車出してー！

アキ 馬鹿！お前何してんだよー！

サツ 早くー！

アキ急いで発砲。サイレンの音

サツ 逃げれて良かったすね。

アキ 逃げれてねえよー状況悪くなってるじゃねえかー！

サツ だってあのまま鞆見せるわけにはいかならじやないですか。撃つしかありませんー！

アキ だからそれは最後の手段であつて、どんな奴か分らねえんだから、札束渡してみりゃいいんだよー！場合によっちゃ目撃される可能性だつてあるだろつがー！

サイレンの音。サツが後方を見る。

サツ 何かパトカーの数が増えてますよー！

アキ 二に犯人がいらんだから集まってるって当然だろー！

サツ 逃げられますかね？

アキ やるだけやるしかねえな？

声 前の車、止まりなさいー
サツ すげえー止まるわけないのに本道に「んな」と言うんすねー
声 前の車、至急止まりなさいー
サツ ねえアキ、本道に止まってみます？以外とその方がびつくりしま…
アキ 「コチャコチャくるせえーそれよりサツ、弾は後何発残ってたー？」
サツ えーっと、待ってください。……残り、……3発すね。
アキ 大事に使えよ。いざとなったらその辺の奴人質になまやいけねえかもしんないからな。
サツ やつはこっちの道來なまやよかつたなあ……。
アキ 仕方ねえだろー木ジキが金持ってきたらって言うてたんだろー
サツ まあ……はい、そつなんすけどね。……でもこのままペトカー引連れて木ジキの家に行くわけに
はいかないつすよね。
アキ 分かってる。どこかで勝負しなまやならねえだろつな。
サツ なんすか？勝負つて？
アキ 勝負は勝負だよ。

サイレンの音。アキ、激しく運転する。トントンの音、サイレンの音も同時に。
サツ、「信号赤ですよー」「危ないー」「死ぬー」「アキー」など喚く。
アキ「どけどけー」「くるせえー」「邪魔だー」など怒鳴る。
効果音少し小さくなる。サツ、後方を見る。

サツ じつじ奴らつすねー……数、さっきより増えてるつすよ。

アキも運転しながら後方を見る。

アキ あいつらもあいつらで相当危険運転してるよな。
サツ じつなったらかっかっ行きますしもうよー無茶でヤクザが警察に負けるわけには行かないつ
すよー。
アキ よつじゃー！

二人同時に前を見る。二人同時に驚きの声。
アキ、急つしーキ

サツ うわあ……アキ。この数半端じゃないうつすよ。

アキ 日本警察つーのはアしたな。働きもんだなー
サツ バリケードつてやつすね。
アキ ああ……。

パトカーが止まる音。二人、後方を見る。

サツ 後ろも「到着」すか。

アキ はさまれたな

声 犯人に告ぐ！速やかに投降しなさい！

サツ 人に命令すんなボケ！……どうします？アキ。「そのまま突っ込んでみいけませんか？」

アキ 完全に守りを固めてあるから難しいだろうな…… スキが出来ればチャンスもあるとは思
うが……。

サツ スキがなければ？

アキ 作りやあい！

サツ 勝負つすか？

アキ ああ。

二人、車を降りる

アキ ああ、銃はいらねえ。置いてけ。

サツ え？使わないんすか？

アキ 逆に邪魔になる。

サツ 又すか……いいんすか？

アキ ああ。

二人、少し前へ。

アキ 二つは銃を持ってないーそつちの責任者と話をするーことを希望するー

声 私が現場の責任者だ。要求を聞こつ。

アキ 二は 二つ、勝負をしようじゃないか。

声 勝負？

アキ 我々が今から一発キヤグをやるー

サツ ……えー？ハイー？

アキ 二にいる全員を爆薬を付たらそ「まじ」してもらおつじゃないかー

サツ ちよつとアキ何言ってるんすかー？

アキ いいかサツ。何で俺達が今までヤクザの世界で生きてこれたと思つ。それは「一発に素ら出

ていたからだ。笑いは必ず取れるー。

サツ いや、そっじゃなくて、なんでこの場で「楽キヤク」をお披露目しなきゃなんないんすか。

アキ スキを作るためだ。

サツ 確かにスキがなければ作ればいいみたいな会話はしましたけど、こんな要求警察が飲むわけ…

声 よーし、いいだろ。

サツ 嘘んー。

アキ 話が早くて助かるぜ。笑いすぎて明日、腹筋が筋肉痛になっても知らねえからなー。よし、行けー。サツー。

サツ もう絶対口子に来ると思ってましたよーえー。こんな緊迫した中でやるんですか？

アキ 得意だろ？

サツ やめて下さいよー。ハードル上がるからー。

アキ とにかくやるしかねえだろー。腹くくれやー。

サツ 分かりました。やりますよ。

アキ もっじゃサツー。お前の実力を見せてやれー。サツの「楽キヤク」3、2、1、ハイー。

サツ、前へ出てきて「楽キヤク」。

47

サツ (げざエモんのT-Aを流し)お魚くわえた……僕ー。

一瞬、一へとした間。

アキ まてまてまてー。三回勝負だー。あと三回以内に爆笑を取ってみせるー。

サツ アキ……。

アキ 弱気になるな。つかめ的にはOKだ。

サツ そーすかねー？

アキ ティポよく行くぞー。ホタは大丈夫か？

サツ 自信はないうですけど、まあ……。

アキ ホッパ、スナップ、ジャンプ、で笑いを膨らませるからなー。まずはホッパー。

サツ 何？中国が日本のお茶を欲しがってること？だったら中国にお茶をおげちゃいなー。

シーとした間

サツ あれ？ダジャレと「楽キヤク」って選んじましたのけ？

アキ 次はスナップー。

48

かつ、一発キヤグ。シューとした音。かつ、アキに何か言おうとするが。

アキ 最後のキヤグ、ジャーンプー

かつ、一発キヤグ。シューとした音。すぐに銃声。

アキ まさか撃つてくるとはな……。

かつ いや、もう、しつこく殺してほしうでせう。

声 我々はもつと固田のキヤグを要求するー

かつ 警察が犯人に要求出すなよー

アキ よし、かつ、行けー

かつ アキも手伝ってくださるもー。こんな冷えきった空気で続けられるほど鋼のハートは持ってます。

アキ そつが……じゃ、一人でやるならゴントだぜ。何とか楽しを取ってスキを作るぞー

かつ スキを作ってる自分達のよつな気もしませうね……

アキ アキとかつのシムオートゴント。銀行強盗。

「銀行強盗」のシムオートゴント。すぐに銃声。

アキ さつちよりも攻撃が激しうじゃねえかー

かつ 多分、自分らが1のゴントやつたらシヤリにならなうからしやなうすかね。

アキ まあ、正真正銘の銀行強盗だからな。

かつ はい。

アキ 次行くぞーアキとかつのシムオートゴント。「職務質問」。

「職務質問」のシムオートゴント。すぐに銃声。

アキ おかしう。これ木シキは爆弾だつたのにな。

かつ 少なくとも本職相手にやるゴントしやなうすよね。

アキ 続きましてのシムオートゴント。「活職事件」

かつ アキ、ホタ選んでくださる。

アキ じゃあ……アキとかつのシムオートゴント。「オカマの痴話喧嘩」

「オカマの痴話喧嘩」のシムオートゴント。シューとした音

アキ よしー奴らホカーハとしてるぞーつじつがゴントのりきだー

サツ 失くしちゃいけない何かを失くした気がするんですけど。
アキ チャンスだー行くぞサツー。
サツ はいー。

二人車に乗り込む
「つおりやあー！」と叫ぶ掛声と共に警察のバリケードに突っ込む
激しいクラッシュ音。
サツ、すぐに後ろを確認し、前を向く。

サツ やりましたね。アキー。奴らバニカってますよー。
アキ よっせ。
サツ ……でも、この車じゃ目立ちますよね？
アキ 少なくともオジキの家には行けねえな。
サツ 高速も無理ですかね？
アキ 裏道に入るしかねえか。
サツ 都会から離れる感じですかあ？
アキ ……そつだな。

サツ、後ろを確認して

サツ 来てないつすね……。このまま選が良ければ逃げ切れるかも。
アキ かもしやなくて逃げきんだよ。
サツ つすね

陽気なカントリー調の音楽。ドライブのよう。
照明、徐々に暗くなることにより、時間の経過を表す。
曲がアードアウトする頃には夜。
アキ、車を停める。二人、車を出て伸びをする。

アキ あー、腰痛てえ……。
サツ にどいつすかね？すいぶん山奥まで来ちゃいましたけど。
アキ さあな。適当に走ったからな。
サツ ロンロンどころか自販機もなしなんて凄う所つすね。
アキ 自販機どころか電柱もねえよ。
サツ 当然……。

サツ、携帯を取り出し、見る。

サツ ま、当然だね。

アキ これは本当に日本なのかな。

二人大きく伸びをする

サツ 疲れましたね。

アキ さすがに疲れたな。

サツ 風呂入ってビール飲んで寝たほうがいいよ。

アキ かと言って旅館やホテルに泊まるわけにもいかねえし……。

サツ このまま車で野宿ですか。

アキ それもなあ……。どうですか……。

二人、屈伸したり腰を回したりストレッチしながら考える。

サツ、辺りをキョロキョロと見る。

サツ あれ？アキ、あれ家じゃありませんか？

アキ あ。

サツ あそこです。森の中の。あれ家の明かりつすよね？

アキ ああーあそこだろ？

サツ つすよね？あれ、家の明かりつすよね？

アキ だな。……。一晩泊めてもらおうか。

サツ まあそんな奴が出てきたとしても口で脅せば一発つよ。

アキ なんかくじな場所に住んでんだ。どうせ、スイートバーだろつよ。

サツ アキー行きましょつよー

二人ホストバッグを持って下手くはける。しばらくして呼び鈴が鳴る。

暗転

第三幕

明かりがつく。真ん中の台はテーブル代わり。部屋の中。上手側にホストバッグ

上手は台所、下手は玄関の設定。テーブルの下手側にひとみがいる。

ひとみは旅行雑誌を読んでいる。しばらくして上手よりるらがお盆に三つものバスタブを乗せて入ってくる。

るし アンタ、本なんか読んでならいで手伝ってよ。
ひとみ えー、なんかするところある。
るし テーブル拭くとか小皿持つてくるとかさあ。
ひとみ 大丈夫よ。テーブルは綺麗だし、小皿も出す必要なし。
るし 何、必要ないって。
ひとみ つまみでしょ。そのまま袋から食べればいいじゃない。
るし ホント大雑把なんだから。
ひとみ えー、これでも細かっ方よ。
るし どうじゃ。
ひとみ そりゃ、お姉ちゃんよりは雑把かもしれないけど、お姉ちゃんが細かすぎるだけでしょ。
るし 何よ。
ひとみ どうせ口の中につまみ程度なんだからわざわざ小皿に移す必要ないって。洗って物増えるし。
るし アンタのそーゆー所ホントお父さんじやない。
ひとみ ちよ、やめてよ。

ひとみ雑誌から顔をあげて、るしを見る。
るしテーブルの上手側に座る。るし雑誌の表紙をめくって。

るし 何読んでるの？……えー、何また旅行行くの？
ひとみ 何よ、まだって。
るし 今度は何？
ひとみ マカオ。
るし やっぱ？
ひとみ やっぱうって。
るし 何しに行くの？おせーの？おせーの？
二人 キヤンパル
るし ほらね。アンタの行くところなんてラスベガスかマカオかシンガポールか上海かJRAかバチンコか雀
庄じゃなかったから
ひとみ 当りちぎって指定できたらいいから辛いわね
るし 勝つたよならのにも懲りならわね。
ひとみ 勝つたよくらいありますー。
るし でも、その勝つた分も使っちゃってわけじゃない。
ひとみ まあね。
るし 最終的に全部入ルまでやっちゃったから、勝つたとは言わなれどしょ。
ひとみ そんなことならですー。儲けたお金がら儲貯まったらやめまー。

るら 3憶。

ひとみ 聞いたことない？人が一生かかって稼げるお金3憶ぐらならんだって。だから、それだけあれば一生遊んで暮らせることじゃあない。

るら アンタじゃ無理よ

ひとみ 何で？

るら お金持ったらギャンブルで使っちゃってやない。

ひとみ チッチッチ。私がギャンブルやるのは3憶を手に入れる為の手段なのですよ。目的を達成しなきゃギャンブルに甲はないうわ。

るら でも大当たりした快感は忘れられなうたじゃあない。

ひとみ そろそろそろーも一回くらいは血沸き肉踊るくらいはしてーく///んかエグザルって全開の57
くらいは幸福感がたまらなくて たまらな…まあそーじゃあない。

るら やっぱりアンタが 一番お父さんの血が濃うわね。

ひとみ やめしては

るら スロトウかかってやがるの。

ひとみ あんなつまんないものやんないわ。

るら じゃあ

ひとみ トレードの駆け引きを楽しむためにはカードが一番ね。

るら ああ……あれじゃあないの……なんだって、カードゲーム……。

ひとみ 7にシクシクシク。

るら そーじゃなくて ホラ、トにっけ使っちゃって、親と手に別れるや。

ひとみ すでに出てる情報言われてもわかんないわ。

るら 何だっけ……アンタ分かるじゃあないのホラ、アッホ。

ひとみ ポーカー。

るら だからそーじゃなくて。あれよ、あれ。ホラ、トにっけ使っちゃって。

ひとみ 新しい情報ちよーだらって。

るら わかんないの？親と手に別れるや。

ひとみ あ、くわん。

るら 連って。あんなギャンブル好きなんじゃあないの。

ひとみ 後もうなんじゃあない。

るら あれもトにっけもらってとーに近づいたが勝ちってや。

ひとみ だから7にシクシクシクじゃあない。

るら あ、あれが7にシクシクシクってらんの。

ひとみ 正解出して「あー」ってならならんトにっけもやん知らんじゃあない。

るら 1110という数値はなひんべつ。

ひとみ お姉ちゃんそれってあれか……。

るら 何……。

ひとみ 何でもならんぞ
るら じじい、キヤンパルも一けん、今は残してきなれんぞ。
ひとみ ぐらぐら。でも今回は結構使っただけだからね。
るら そうなのよねー。ほんと楽しみ。
ひとみ お姉ちゃんは何使っ道考えてんの？
るら まあね
ひとみ まあた投資の話に乗っかるの？
るら けなげ。
ひとみ 投資もカシノもキヤンパル性は一緒だと思っけしなも……
るら じじい、一緒よ。
ひとみ 詐欺話も多しじゃん。
るら それも含めて投資なのよ
ひとみ えー。その感想おかしらね。
るら おかしくならわよ。
ひとみ まだあのフロッカーと付き合ってるの？
るら え、付き合ってるの？
ひとみ そーゆー意味の付き合ってるじゃなく、まだ話を聞ってるのから。
るら そりやもちろん。

ひとみ 15の間500万損したのじじい。
るら でも謝ってくれたよ。
ひとみ 謝ってくれたら……そりや、お姉ちゃんからまだお金引く張れると思えば、上下座でも何でもするでじよーよ。あの人の持つてきた話で儲かったじじいもあるよ。
るら え、あるわよ。
ひとみ でも次の話で結局損してるじゃなげ。
るら まあね
ひとみ お姉ちゃんこそお父さんの血濃しんじやならん？
るら ま、親子つじじいよね。ごまれば。
ひとみ まとめならんぞよ。

るらの携帯が鳴る。画面を見る。

るら あ、噂をすれば
ひとみ フロッカー？
るら 未だじよ。

るら、電話に出る。

るら はい。お世話になっております。えいええ。今度はまともなお金ができだんで、三つ位話が出来ればと願ってますけど。……ええ。……ええ。え、明日ですかええ、大丈夫ですけど。はい。……はい。……はいわかりました。それでは失礼します。

るら、電話を切る。

るら ひとみちゃん、あんたも。

ひとみ 私ははい。

るら 残念ね。

ひとみ 結局お姉ちゃんも「繕」じゃない。

るら でも全部は使わないよ。毎回ちもつずつ貯金してるもの。

ひとみ えー貯金とそんなに固く生きていーするのよ。お金なくなったらまた仕事すればいいんだし。

るら おばあちゃんになったらそれも言ってもらえたらいいよ。体動かならわよ。今でもええのほらほらなんだから。

ひとみ ああーお姉ちゃん今回結構やばかったよね。

るら 認めたくはないけど、体の衰えを感じたわよ。

ひとみ ま、でも考えてみたらあいの使ひ方にくらべればマシかもね。私たち。

るら あいちゃんねー。

ひとみ お姉ちゃんから「繕」の方がいいんじゃない。

るら でもそいつのが楽しい年になるんじゃないよ。あの牛まだ苦しい。

ひとみ もう本つ消、あいに甘らんだから。

るら そいつはあいちちゃん選らね。

ひとみ うん、そろそろ帰ってくるんじゃない。行ったのあそいでしょ。麓の山に帰らな。

るら じゃあそろそろね。電話してみる。

るら お願い。

ひとみケータイを使おうとするがやめる。

ひとみ あ、三園外だった。お姉ちゃんのケータイで電話して。

るら あ、それが。

るら、ケータイを取り出しあいの番号を探し、電話する。

ひとみ すいすいねー改造したんじゃない。

るら うん。
ひとみ 今度私のもやつても。不便でしょーがならから。
るら 時間があったらね。
ひとみ えーなるべく早くやつてもー。
るら アンタが又木オに行ってる間でしょう。
ひとみ やつたー。
るら ダメ。出ない。

車の音、エンジンが止まる。

ひとみ あ、帰ってきたんじやない。

ひとみ、客席側へ移動(そこに窓がある設定)

ひとみ やつはあつたよ。うわ、結構買込んだなあ……。お姉ちゃん、あつ帰ってきたよ。
るら そう。

るら、ケータイをしまつ。ひとみ元の場所に戻る。

うしろくして、両手に大きなコトコト袋を持ってあつが下手より入ってくる。

あつ だらまー。
るら お帰り。重かったでしょ。置いて置いて。ひとみ、あんたも手伝つて。
ひとみ くらくら。

あつ、コトコトの袋を床ぐ。るら、ひとみ、コトコト袋の方へ行く。
あつ、すぐに上手のホストバッグへ移動。変化がならか確かめる。

あつ 誰もさわつてならでしょーね？
るら 帰つてきてますそれ？
ひとみ 本道に嫌な子だね。
あつ だつて私だけ買出しに行かされたんだも。
ひとみ シヤンタつで負けるアンタが悪いのよ。
あつ だつてするらよ。お姉ちゃんたち、私がつも堅初にバー出まつて知つてるくせにー。
ひとみ 言つたつてくはアンタでしょーが。シヤンタつで求めまつて。
あつ るら姉〜。
るら はいはい。お疲れ様。バッグは誰も触つてならから安心して。

あし 本当？

ひとみ あし。アノタお姉ちゃんのことは信用してるみたしだけし、シヤノケノで堅初にバーを出すも
うにアノタを調教したのはお姉ちゃんだよ。

あし 嘘ー？

るし 本当。ちっちゃい頃ね。

あし 初めて聞いた。

るし 言っでなかったからね。

あし もー、これだからお姉ちゃんたちは信用できなからのも

るし アノタもしまなりぐいせならでも

ひとみ だって私だけ信用されなから嫌なんだもん。

あし もう絶対シヤノケノやらならからねー

るし ちなみに、何か決めしとする時にシヤノケノにしろつと話し出すものに調教したのはひとみだか
らね。

あし ひとみ姉ー

ひとみ ちよつとしたシヨークも。シヨーク。

あし しっかり裏書つけてるんだけどー

るし まあまあ、とりあえず、眠つてきてくれたんだから、カッパイしも、カッパイ。

三人、ゴゴロニの袋からいろいろ取り出し、準備を始める。

あし ちよつと、何のゴツツ？

るし 何？

あし 私買つてきたのダイヤだよ？

るし だから？

あし ダイヤにこんなゴツツなんて合わなからいせん。

ひとみ 何言つてるの。ダイヤのたつて、何巨田の安物じゃなから。

あし だって、あんな個人商店みたらなゴゴロニに高いダイヤがあるわけなからいせん。

ひとみ だつたらいーじゃなから。安物のダイヤなんかつにスチウクのゴツツで売ら。

るし そうそう

あし 本の当信しらんから。

ひとみ 信しらんからのはいつちよ。何、この安物のつまみのホッパースは？

るし さきしか。焼き屋の缶詰め。酢コノ。柿コノ。……ダイヤのつらつらつはホッパースのつまみでしよ、
これ。

ひとみ チーズくらあつたでしよ。

あし だから眠つてきてるじゃなから。

るし チーかまね。

ひとみ だから、ロールのつまみでしょっ。

あー そんなこと言うなら自分で行ってくれわーじゃなら。るー姉はアッだけし、ひとみ姉は免許
持ってるでしょー。

ひとみ シヤ、ケッで買けたのはア、タ。

あー だからそれはー。

るー はらばら。もーらーでしょ。らじやなら、これぞ。ア、タだつて、ア、タで本格的に盛り上がるわ
けじゃならでしょ。

ひとみ まあ、そつだけしよ。

るー 形だけのカ、ペイなんだからわ、らーじゃなら。ち、準備、準備。

あー これ全部開けちやろ。

るー もつたらならから、さ、さ、さつてらじやなら。

あー じゃ、残り台所におろしてね。

るー うん。

あー、ア、タの袋を上手(台所)く掛つてら。

ひとみ 仕事するのはらじやだけしよ。終わった後のア、タゆつのが面倒なんだよね。

るー しょうがならでしょ。お父さんの言うけなんだから。

ひとみ 言うけつてらつか、ほんん遺言だつだけしね。

るー そうねー。

ひとみ 今後ちやらならと駄目なの。

るー 仕事した後はね。

ひとみ ふう。

あー、戻つてくる。乾杯の準備。

あー 今日は誰の番だつて。

るー ひとみでしょ。

ひとみ 嘘^{!?}。

るー 嘘じゃならわよ。前回私だつたんだから。

ひとみ じゃ、後の儀式も私^{!?}。

るー 当たり前じゃなし。

ひとみ あれが嫌なのよねー。

あー 儀式好きな人なんつたらよ。

るー とにかく、今回はあんだなんだからね。

ひとみ くら。

るい じゃ、とりあえず乾杯の音頭を。
ひとみ へーい。…えー、今回はかなりの大物を狙いまして、無事ゲットすることができました。ブツはあそこで静かに寝ています。お父さんからの言いつけとおり、ゲットしてから3日間、手を付けずに置いてあります。そして今、晴れて私達のものになったのです。!! ばんざー!!
二ス ばんざー!!
ひとみ カンパー!!
二ス カンパー!!

るい、コップを合わせて乾杯する。飲む。拍手しながら喜びあつ。

あい いやー、この3日間、長かった長かった。
ひとみ 本当。
あい るい姉、私、明日には東京戻るからね。
るい そうなの？ゆつくりしてはほらうのじ。
あい 大丈夫、大丈夫。
ひとみ あれでしょ？星矢に店に行くって言ってるんですよ。
あい 違う違う。星矢はもうお終ひ。
ひとみ お終ひ？

あい 今は あきら。
ひとみ またお店發えたの？
あい だって星矢つまんなくなっちゃったんだもん。
ひとみ つまんなくて…。まだ3カ月くらいでしょ。
あい 意外と底が浅かったのよね。
るい ちよつと、あいちやん。
あい 何？
るい 大丈夫なの？騙されてたりとかしてるんじゃないの？
あい えー、何が？
るい そういつのが楽しい年頃なのは分かるけどさ、ホストに買っただって戻返りなんかないでしょ。
あい 別に見返り欲しうわけじゃない。
ひとみ じゃあ何？
あい 単純にキドキハハハしたっただけ。お金で還画みだらな恋愛というのができれば安くもんじゃない。
ひとみ ま、それが戻返りといえは戻返りかな。
ひとみ どの子、本当にひまの子？
あい 何よ。
るい あいちやんはさ、まだ若いしカワイイんだから、もっと真面目な恋愛した方がいらして思つよ。もっと周りをよく見て。

あし 周りにイケメンがいらないだもん。
ひとみ アンタの男を選ぶ基準、百パー 顔だもんね。
あし 優しさとか気持は目じゃ見えないうー。
るい どの子、本当にうちの子とどうしたらこんなに惚くれるの？
あし お姉ちゃん達の付き合ってきたタメ男見たら考えも惚くれるっての。
ひとみ 私達のせい？
あし だってそーじゃん。ひとみ姉、今まで人に目撃できるような彼氏いた？
ひとみ ……と言われてすぐに名前が出ていなくなることが多いわよね。
あし でしょ。今はお金で買える恋愛を楽しんでて済めしてるの。
るい ま、あしちゃんがそれでいいならいいけど。
ひとみ ね、ね、あきらめて人の写真とかならいい。
あし 待ち受けにしてるよ。見る？
ひとみ 見して、見して。

あし、携帯を取り出して、ひとみに渡す。

ひとみ くー、アンタ面喰いと自分で言えるだけあって、見る目確かね。
あし でしょ。

るい えー、どれどれ？

るい、携帯を覗き込む。

るい あー、確かにうりやイケメンだわ。名前なんだっけ？
あし あきら。
るい あきら君か。くー。
あし ちよつと貸して。他の写真もあるから。普段着のやつとか。

ひとみ、あしに携帯を戻す。あし、携帯をいじる。

るい あれ？でもあきら君って、誰かに似てない？
ひとみ 誰かって？
るい アシよ。あの…芸能人の。
ひとみ また名前出ていなの？
るい うや、ほら…あの人。なんだっけ？
ひとみ もっ、お姉ちゃん面倒くさい。
るい いぬん、いぬん。でもほら…えーと、アッ。

あし 何、誰？
ひとみ あれでしょ。あの、何とか何とか。
るら そうそうそうー。
あし ちよつと、ノリで納得しなすでも。
ひとみ いらぬよ。どうせお姉ちゃん正解言っただつてズッキリしなすんだから。
あし あ、あつた。ゴロゴロ。

あし、新しい写真を二人に見せる。

ひとみ あゝーこれもカッパイイかも。
るら なるほどねー。あしちゃんはこの下の顔がタイプなのか。
あし まあね。
ひとみ 確かにこのイケメン君と恋愛しついでできるなら、お金田してもらひかもしんない。
あし じゃ、今度一緒にお店行く？
ひとみ 遠慮する。私にはもつと魅力的な目標があるから。
あし 何？
ひとみ 子供のアムタには分からなすわよ。
あし どうせキヤングルでしょ。

ひとみ ……子供のアムタには
あし キヤングルでしょ。
ひとみ 子供の
あし (るらに)なんなの？
るら キヤングルよ。
ひとみ ちよつと、私にはそれしかなすわけ！
二人 だつてキヤングルでしょ？
ひとみ そゝまでハマられると、かえつてズッキリするわね。
あし だつて、それ。

あし、雑誌を指差す。

ひとみ これ？
あし どうせ行き先はつズグカスかマカオか上海でしょ？
ひとみ 本道にかわらなすね、アムタ。
あし で、るら姉は株とか絵とかそんなところでしょ。使ひ道なんど。
るら まあ、みんな、相も変わらなすところかじら。
あし 二人とも私に感謝してよね。こんな大物の情報、私だからとつてくれたんだから。

ひとみ それ言うなら感謝してよ。あの睡眠薬手に入れるの大変だったんだから。
あ いくら大変だつて言つても、ネタそのものがなきや意味ないじゃん。
ひとみ いくらネタがあつても、道具がなきや実行できなうでしょ。
あ そうやって大変さアピールして分け前多く取るつもりでしょ。
ひとみ 言いだしたのはアツタでしょうが。
る いじやないの。前回3人で決めたでしょ。毎回取り分でケチカするの嫌だから、大変さに関係なく3等分にしようつて。
ひとみ そうだけじゃ。
る 大変さアピールなんかしたしたら、お姉ちゃんが 一番大変なのに決まってるんだから。
あ 何だよ。頭で考えるだけでしょ。
る バカね。何事も作戦つてのが 一番大事なのよ。いくらネタがあつても、道具があつても、作戦がキチンとしてなうとつまうかなうんだから。
あ いやいや、おかしうつて。やっぱり情報ありきでしょ。
ひとみ アツタなんか楽じゃない。お店で酔つ払つてるヤクザの相手してこつこつ笑つてるだけでいいんだから。
あ そんなことありません。言つておくけどキヤハ嬢つて、ひとみ姉が思つてる以上に疲れるんだからね。
ひとみ それでもたまにはホストが遊びに来たりするでしょ。私の担当と変わつて欲しいくらいよ。

あ そつちこそ楽じゃない。業者に連絡して道具を買つただけでしょ。
ひとみ ヤバイ業者だつているんだから神経使うのよ。おまけに裏業者の男にイケメンなんかいるわけない。イケ魅みたらなヤニくさうオツカハばかりなんだから。
る そのストレスでキヤハブルに走る、と。
ひとみ そつそつそつ。イヤイヤしてる時に大当たりがきたらもう...やめてよ。
る とにかく前回決めたんだし。大変なのは 一緒。重要なのも 一緒。だから仲良く3等分。いいわね。
二 ...はーい。
る じゃ、そろそろ分ける。
あ そつしよーそつしよ。!!
る じゃ、テーブル片付けて。

ひとみとあは驚いだテーブルの上のものを台所へ
すぐに戻つてくる。るは上手のホスト、べつぐをテーブルの上へ。

ひとみ 毎回だけし、この隣間がたまになうのよね。
あ とくに今回は大物だし。
ひとみ ねー。

るい じゃ、開けるわよ。

るい、ポストへびんぐを開ける。逆を引いて中身を出す。
大量の札束が出てくる。ひとみ、あ、拍手。

るい ジヤ〜ン!!「これが今回の大ネタ。2億田です〜す!!」

あい 2億……これが2億かあ……

ひとみ ん〜眼福、眼福。

あい ね、写メとっついでい〜

ひとみ あ、私も私も。

るい ダ〜メ。証拠に残るようなものに決まってるでしょ。いつ携帯落とすか分からならぬじ。

ひとみ そつか〜。ちま〜。

あい まあ、じゃ、しばらく眺めておつか。3等分する前に10米リコーンを。

るい そうね。

るい、2億を囲んでまったりする。大きく溜息。

あい そういえば、あの見張りしてたヤクザの人、どうなったかなあ……

ひとみ 小指くらいで済んでるといっけえね。

るい あら、今はそんなことじゃないよ。

ひとみ そうなの〜

るい 小指詰めだつて一田にもならぬからね。ホカした分は他のことで使わされるら〜いわよ。

ひとみ 詳しいね。

るい 1の間トトとでやつた。

あい あの睡眠薬す〜ら効き目だったよね。二ホ〜嚙かせて一分もしならぬら〜もに口ト入たもん。

ひとみ だから、ア〜、手に入れるのに苦労したんだつて。

あい はいはい。

るい 薬はどつしたの〜

ひとみ 帰ってくる途中の山の中にホ〜したよ。

るい あそこの崖の所〜

ひとみ あそ〜なら大丈夫でしょ〜

るい まあね。

るい、再び静かに札束を見る。大きく溜息。

ひとみ への達成感は久々だわ。
あい 本当。
るい さて、いつまでも眺めてないで、そろそろ分配しますか。
ひとみ 割り切れなければ、端数どうするの。
るい それも決めたでしょ。百円以下の端数は次回に持ち越し。
ひとみ そうだね。
あい ひとみ姉、あの時結構酔ってたからね。
ひとみ そうだね。
るい じゃ、一人頭を千〇百〇十〇万〇千円で分けるわよ。
ひとみ OK!!
あい はい。
るい じゃ、分配前の儀式やるわよ。
ひとみ ちよ、あれもつやめらしいの。
るい 今更何言ってるのよ。
ひとみ 今だから言ってるの。
あい お父さんの言いつけ守れないのよ。
ひとみ アンタだつて嫌でしょ。次、アンタの番なんだからね。
あい それはそうだけども...

ひとみ お父さんの言いつけなんて絶対意味ないつて!! 明らかに酔っ払しながらしゃべってたじゃん。「我が家は代々泥糍を生業としている家系だ。お前たち姉妹にもその才能がある。ただし、盗んだ後はこの決まりを守らねばならん。一〇。盗んだ物は三日間自分の家に置き、手をつけてはならん。三日置いておけば自分の物となり、自由にする」ことが出来る。」
るい もうこの時点で子供の理屈よね。
ひとみ 一〇。盗んだ物を自分のものにするために、儀式をしなくてはならん。儀式をせずに自分のものとした場合、天罰がくだるだろう。
あい 盗んだ時点で天罰が下るつて一〇。
ひとみ 言ってることめちゃくちゃじゃない。あれ、絶対酔って適当なこと言ってたんだつて。それを律儀に...今までもく守ってきたわよ。
るい びくびく言ってるなら早くやりなさい。
ひとみ 人の話聞いてたの。
るい 酔ってたかもしれないし、そうじゃないかもしれないけど、とにかく今まで守ってきたつてまっくいつてるんだから。二二でアンタがやめちやたらいつなるか分からないうちやない。
ひとみ お姉ちゃん、ジウクスなんが信じてるのよ。
あい へー、意外。
るい そういつのあるんだから。気が流れとか波とか。アンタもキヤウツルやってるなら分かるでしょ。

ひとみ ああー、まあね。
 るる あるでしょ？ツキとか流れとか。
 ひとみ あるある。
 るる そうしてもんなんだから。今までの昔くさくさした人間を教える人間なら。
 ひとみ それは分かってけど…。
 るる じゃ、そんなに言うんだしたら、ちよつと簡略化してみる？
 ひとみ ん？
 るる ちよつと動きを飛ばすとかね。
 ひとみ いらぬ？
 るる まったく儀式しなるとはいいけども。
 あら 何かよくわかんないけど、私の時をきいて？
 るる まああ…ひとみの後で何もなければ今後はそれでいいんじゃない？
 あら そうだね。そのうち、そのうち…
 るる じゃ、ひとみ、覚悟決めてやりなせう。
 ひとみ …分かった。ちやんと二人も後続してよ？
 あら 分かっているってー。

センターテーブルの後ろにひとみ。下手にあり。上手にるる。

空席を回く。ひとみ、土俵入りのおこながポーズをしながら。

ひとみ はらよ〜それぞれ〜
 るる、あらしも ひとみの動きに合わせると同じ人間を回へ。
 ひとみ あららん、いららん〜
 るる、あらしも続く。
 ひとみ びろん。らろろろろろ〜ん。
 るる、あらしも続く。
 ひとみ ぬー。
 るる、あらしも続く。

ひよみ もー

るい、あしも続く。

ひよみ すらすらすらすーらすら。

るい、あしも続く。

ひよみ さくさくさくさくさくさくさく。

るい、あしも続く。

ひよみ びいぱー

るい、あしも続く。最後に3人、合掌して息を整える。

るい アニタ結構はじまつたわね。

ひよみ え、そっ。

あし わにやにやん、わにやにやんの所、わねふ外したでしよ。

ひよみ 分かる。

あし あそしんどうもんねー。体力的にも精神的にも。

ひよみ そっそっ。

るい さて、これで晴れたりのお金は私達のものにならなうわね。

あし 分配しよ、分配。

るい そっね。

3人がお金に手をつけようとした時、呼び鈴が鳴る。

暗転

第4幕

舞台上は薄明かり。三姉妹が儀式をしている(やりこなし)

舞台上手にアニキとサツが入ってくる。ポスト・ペーパーはサツが持っている。

アニキ 何考えてこんな所に家建てたんだか。

サツ もつぼし人付き合したくないんすかね。

アキ だとしたら普通に頼んじゃあ、一晩泊めてもらえそこのねえな。
サツ 最初から普通に頼む気なんてないわさ。え。
アキ そんなことねえよ。問題は起ころねえにしたらええからな。……玄關にださ
サツ あつちじゃないですか。

サツ 下手を指す。二人、センターへ移動。

アキ 何だよ。こっち側、結構道路補装されてんじやねえか。
サツ グルッと来れば車で来れましたね。あ、車、止まってもすよ。
アキ 明日はあの車で逃げるか……。
サツ 流石アキ、ヤクザの風上において顔縁にかざりだらくから悪党な考えですね。
アキ 行くぞ。チャカはいつでも出せるもつにしよう。
サツ はい。

二人、下手くはける。三姉妹に明かり。
ちよつと儀式が終わったと知る。

るい ア、タ、結構はじまつたわね。

ひとみ え、そつこ。
あい わにやにやん、わにやにやんの所、わねえ外したでしよ。
ひとみ 分かるさ。
あい あそつこいもんね。体力的にも精神的にも。
ひとみ そつそつ。
るい さて、これで晴れたつのお金は私達のものになつたといつわね。
あい 分配しよう、分配。
るい そつね。

るい 人がお金に手をつけようとした時、呼び鈴が鳴る。
三人、とつちにお金をかばつ。

あい 何。
ひとみ 誰よ……こんな時間に……。
あい 警察さ。
るい まさか。
あい だつて。
るい 盗んだのはヤクザのお金よ。ヤクザが警察に通報すると思つこ。

ひとみ　じゃ、ヤクザ？
る　それこそまさかよ。分かるわけないじゃない。
ひとみ　じゃ誰よ。
る　ガス欠になった旅行者とか？
あ　ああ……
ひとみ　なるほど。
る　まあ、そんなところよ、まこと。
ひとみ　二三の峠、ガソリンスタンドならもんね。
あ　どうする？出る？
る　出るも何も、電気がついてんだからさ。外に車もあるし。
あ　あ、そこか

再び、ピッポー！と呼び鈴が鳴る。

る　電話貸して下らんか、トヤロ貸して下らんか、そんなところよ、まこと。
ひとみ　うん……。
る　場合によっては泊めてくれて可能性もあるけど。
ひとみ　え、どうすんの？

る　人によるわね。変な男の人だったらうまく断るから。一応、これ、かたじけなく
ひとみ　わかった。

る　下手くはける。ひとみとあいは急いで礼束をポストバッグに入れる。
ポストバッグは上手後方へ移動させる。
二人、しばらくポストバッグの近くに居るが、あしだけセンターのテーブルの近くへ移動し
下手をつかがつ。しばらくしてあしが両手をあげて戻ってくる。

あ　どうだった？なんだった？

る　無言。

あ　る　姉さん。何でホールドアップしてんの？

ひとみ、それを見て左手で銃を作り。

ひとみ　バーン。

る　……アッた昔つからそう。最悪のタチノコで最悪のギヤクが来るのよね。

ひとみ どうしたのよ。

ひとみ、あい、るいに近づこうとするが、銃を構えてポストへびっぐをもちたかつとアキが入ってくる。入ってくる時、アキ袖から「じゃまするせ」の声だけ入れる。

アキとかつが舞台上に登場したら、るい、ひとみ、あい、悲鳴を上げながら上手のポストへびっぐの近くへ逃げる。ポストへびっぐはなるべく隠す。

かつ 動くなー

ひとみ な、何よアキ達。

アキ こんな山奥に女三人で暮らしてんのか。屁せんかお前ら。

ひとみ どうだつていいでしょー何よ、何なのよ。

アキ 悪いが質問はナシだ。俺達が誰とか、事情を知っちゃったらお前らに先はないぞ。

ひとみ 先がないってどういう意味よ。

アキ ……わかるだろ。

アキ、かつに指で合図を送る。

かつ、一歩前へ出て銃を構え直す。

89

ひとみ そんなのこーせ偽物に決まってるんだからー

かつ 試してみるか。

るい ひとみー

あい ひとみ姉えー

るい ひとみ……こはちよこと落ち着きましよう。外に他の仲間がいるかもしれない。

アキ それは大丈夫だ。俺達は二人だけだ。

ひとみ 分かるもんですかー

るい ひとみー

アキとかつ。三姉妹が睨みあう。ちよつとした間。

アキ かつ

アキ、かつに銃を下すよう、指で指示する

かつ、アキを見て、三姉妹を見て、ゆっくり銃を下す。

三姉妹にもほつとした間ができる。

アキ ま、ちよつと乱暴な挨拶だったが。お前等がおとなしくしてれば危難を加えるつもりはない。

90

なに、最初にガツンとかましておいて、口舌の立場が上であるということを示すという、交渉の基本だな。

ひとみ 何が交渉よ……！

アキ だ。俺達の最大の要求は「こで休ませてもらうこと。まずこの要求を飲んでもらえれば、お前等には一切手出ししないことを約束する。

るい それはアタタを含め、その人もつこと？

アキ あ？

るい 一晩休ませるって要求を飲んだ後で、手を出さないと約束したのは俺だけだ、なんて言われたら嫌だから。

アキ ……そんなに警戒するなよ。冗責分の俺が手出さねえんだから、こいつがこいつ出来るわけねえだろ。

ひとみ どうだかーるい姉相手に交渉しようなんて百年早いよーるい姉頭いいんだからーダマに年くつてないんだから

瞬（ひら）。

アキ 聞かなかつたことじしよう。

るい 助かるわ。ひーとーみー。

るい、ひとみのよかみを拳でぐりぐりする。

ひとみ したただたーこめんなぞら、こめんなぞらー

るい ま、それで私たちの身の安全が確保されるなら仕方ないとして……他の要求は？

アキ 話が早くて助かる。次は……そつだな。喉が渴したんで飲み物を貰おつか。

あい あ、私持つてくるー冷たいウーロ茶でよろしいかしら？

サツ ……何だお前？

アキ お前等、姉妹か？

るい ええ。

サツ じゃあいつ、来つ子だな。来つ子だよ。

アキ 世渡り上手などは来つ子だろつな。

あい 世渡りだなんて。ただ、こまで来るのに疲れただろつなつて……。

ひとみ 世渡り以外の何物でもなしわね。

アキ 冷たいウーロ茶があるならそれをもらおつ。

あい じゃあ。

あい、上手く行つとするが。

アキ 　　ただし取りに行くのはアキだ。
るい 　　私？
アキ 　　そいつだとあんた等を置いて裏口から逃げる可能性があるからな。
あい 　　な、何を馬鹿なことをー
ひとみ 　　アキの性格、たまた 言でべしべしね。
あい 　　だ、だれが逃げるものですか
かつ 　　動揺しまくりじゃないか。
るい 　　わかったわ。私が持つてる。
あい 　　ちよつとるい姉ー私を置いて逃げなうでもー
全鼠 　　お前が言つなよ。

るい 　　とまぐ。全鼠ちよつとした間
かつ 　　ホストバッグをテーブルの上置く。

ひとみ 　　何よそれ
かつ 　　質問はナシだつてもうアキが言つたろ。
ひとみ 　　だつて何か危ないものだったら嫌じゃない。爆弾とか。

かつ 　　そつらつんじゃねえから安心しろ
ひとみ 　　じゃあ…。
かつ 　　質問はナシだ

かつ 　　銃を回ける。

ひとみ 　　……分かったわよ。

るい 　　コップにウーロ茶を入れて持つてる。
テーブルの上置いて、元の場所へ戻る。
アキ、かつ、ウーロ茶を飲む。大きく深呼吸。

ひとみ 　　いんなことならあの薬、捨てなまやよかった。
かつ 　　あ？
るい 　　で、これから「のまも朝が来るまで」の状態でしたら出て行ってくれるのかしら？
アキ 　　そつだな……タバコあるか？
るい 　　はい。誰も吸わなうから
ひとみ 　　知つてる？タバコで精神的に大人になりまわなうお子ちやまが吸つたつてカキなのよカキ。

るい ひとみー
アキキ まだ我慢かよ……。
あし あのう私買つてきまじもつかのこつたこつたもぢもぢも選りけし……。
かつ お前は少し学習しろ。

かつ、あしに銃を回ける。あし、奥く引ひ込む

かつ 自分買つてきまじもつかのこ
アキキ いや、い。どに警察がらるかわかんねえし、コッパコッパの監視カメラに映らな可能性もあるからな。
ひとみ 警察つて……アハタ選何したのよー。
あし あー
るい ……何？
あし ひよつとして銀行強盗ー。
ひとみ 強盗ー。
あし 買出し行つたとき、どい木聴らただんだけし、二コーズでやつた。日屋置々、銀行強盗した二人組が逃走中だつて。
ひとみ 全く、犯罪者を野放しにするなんて、警察は何やつてんのよー

95

その言葉に、るい、あし、左右両方からひとみに手の甲で突ひ込む。

ひとみ じゃ、その中身つてー
かつ 金だよ。

かつ、ポストバッグの中身をちらちらと覗せる。

かつ 驚いたか？こんな大金、見るのも初めてだろ。
ひとみ え、ええ、まあ、そこね
アキキ さて……に金があと知られた以上、このままの状態でいしは言えなくなつたな
あし え、どつらつこいですか？
アキキ 一つちもそれなりに警戒する必要がある出来たつていんだよ。懸りが縛らせてもらつせ。
ひとみ 縛るであつてー。この状態ー
かつ 馬鹿野郎、意味が違つたんだよーそつらつ意味で言つたら、アキキは縛るより、縛られる方が好きなんだ。

「瞬」

96

るい 聞かなかつたことにするわ。
アキキ そうしてくれ。
ひとみ 何よ、やっぱり変態なんじゃない。
アキキ お前には優しさがなうのか？……サツ！
サツ はい。
アキキ チヤカ賞せ。お前はヒモの代わりになりそつなもん見つけどらー。
サツ わかりました。

サツ、銃をアキキに預ける。

アキキ 玄関側にもう 一つ部屋があつたる。そち見せじ。
サツ はい。

サツ下手くはける。
アキキ、三人に銃を回ける。

アキキ だから言つたるさ。一ゆ一時はお互しの事情なんか知らない方が身の為なんだよ。

あい あの、事情知つた私達つてやっぱり殺されるんでしょーか？
アキキ は？そんなわけないだろ。
あい よかつたー。
アキキ ただし、お前等がこれ以上余計な詮索をしなればの話だがな。
あい しません、しません。するわけないもん。ね？

二人、返事をしない。二人はホストバッグを見ている。

あい ねつて！
るい え？ええ……そつね。
あい ちよつと馬鹿なこと考えてるんじゃないでしよつねー？
ひとみ 何よ馬鹿なことつて。
あい 命の方が大事でしょー？
アキキ お前等、何言つて……

サツ、下手より入つてくる。手にはロープ

サツ アキキ、ありました。

アキ 随分しっかりしたロープがあつたな。
サツ いや、何かあつちの部屋、いろんなものがあるんすよ。
アキ とりあえず三人とも縛ちまえ。
サツ はい。

サツ、三姉妹の近くまで移動

サツ 後ろ向け。

三人、じふじふ後ろを回く

サツ、三人をロープで縛る。

アキ 余計な動きはするなよ。俺は撃つときは撃つからな。
ひとみ ついでにあんたも縛ってもらつたら？
アキ 面白い。30点だな。
サツ 終わりました。

三人、ポストバッグを隠すようにその場に座る。

サツ アキ、自分ちよこと便所行つてきます。

アキ ああ。

サツ 場所は？

サツ、三姉妹に聞く。るい、首だけで台所の方を指す。

サツ、上手く移動。アキ、大きく深呼吸。ポストバッグから札束を取り出し、教え始める。

三姉妹、小声で話をする。

あい ちよつと、どつすんのよ、これ。

るい どんどん不利な状況になつていくわね。

ひとみ お姉ちゃん、ちよつと。

るい 何？

ひとみ 私の後ろのポケットにナイフ入ってるから取つて。

あい おおーさすが道具担当ー

ひとみ 怪しまれないように、そつと動いてよ？

るい わかつてる。

あい 私、私。まず私のロープ切つて。

ひとみ あわてないの。順番よ。
あい えーするしよ、お姉ちゃんたちばかり。
ひとみ どうして取れるの。
るい うん。とれた。……じゃ、切るけど、切れても一応そのまま縛られたらいいしなわらわら。
ひとみ うん。相手が不意に近づいたら……
あい ガツツとね。
るい コンビネーションが大事だから。呼吸を合わせてね。
二人 了解。
るい ただ……。
ひとみ 何？
るい 口のロープかなり固いわね。少し時間稼ぎが必要かも。
あい 大丈夫じゃならぬ。何か同じくも少し落ち着いてるのほら。
るい ……そうね。

土手袖からさつがの指。「アニキーアニキー」
さつが入ってくる。手にはライターとみみがかくせん。机をホストバッグに戻しながら。

アニキ どうしたの。

さつ これ見て下さしよ。何か酒とつまみが大量においてありました。
アニキ すげー量だな。……なんだお前等。姉妹でパーティーでもやってたのか？
さつ 寂しい奴らつすね
ひとみ うつせいわね。ほつとつよ。
さつ ま、そんな状態じゃせつかくの酒もシママも無駄になつちまつかな。
アニキ おいさつ。まさか飲むのか？
さつ ビールじゃならぬが残念ですけんね。
アニキ お前ただでさえ酒弱いのに。ライターは特に苦手だから。
さつ でももう飲まなまややつてらんないつすよ。
アニキ それは分かるが……。
さつ アニキだつて飲みたらんじゃならんすか？
アニキ ま、飲みたらんちや飲みたらんけんな。
さつ 量抑えりや大丈夫つすよ。飲みましょーよ。
アニキ しかし……。
さつ せつかくシママもあるんですから。
るい チャンスちやんす。
あい え？
るい 今の隙だからだくせん飲んで酔っ払ってもらいましょーよ

あい そうね。その方がスキも生まれるもんね。
ひとみ アンタ、接客しなさいよ。フロでしよ。
あい ええー？
ひとみ その間にこっちでロープ切るとくからせ
あい ひとみ姉え、本気で言ってる。
ひとみ とにかく、視線がこっちに来ないうつにして。
あい あまり気が進まなうけど……。あ、あのー。
サツ あ。
あい 男二人で飲むのって味気なくありません。
サツ 仕方ねえだろ。
あい 私ですね……。東京でキャバクラで勤めてるんです。
ひとみ 現役キャバ嬢ー。
るい しかも結構売れっ子ー。
サツ キャバ嬢だあ。
あい もちろんテーブルに付きますけど。気分よくお酒が飲めると思ってますんでー。
ひとみ じつはクッキーだー。
るい 二クイゼ大将ー。
サツ アンタが酌するって。

サツ、あいに近づき、口の口を見る。ハルッと振り返り。

サツ いらん。
あい ちよつとー。
サツ お前はいららんと下心がありそこで落ち着いて飲めそうもねえ。
あい ちよつとー。
サツ 二人で飲むからお前等はおとなしくしてな。

サツ、席に戻り、アキと一緒に飲む。鏡はテーブルに。

るい 全然ダメじゃない。

ひとみ ま、所詮アンタの色気なんてそんなもんよ。見てなさい大人の女の魅力ってやつを見せてあげる。
……ちよつと、その巨那あ。

ア・サツ いらんー。

ひとみ 即答かよー。

るい ひとみ、アンタ、自分に女の色気があると思ってるの。

ひとみ 確認するように質問するのやめてくれるんじゃないか、お姉ちゃんがやってみよー。
るい ……無駄なことはしない主義なの。
ひとみ 自分を知ってること大切だよな。
るい ちよつとあー。いつまでくこんでんのよ。大丈夫だって、お姉ちゃんたちも惨敗だったんだから、そんなに気にしないの。
ひとみ あい？……あい。
あい ……ねえ、お姉ちゃん達さ。あのオラつて人見覚えない？
るい ええ？
あい 最初見た時からどつかで見たことあるなーって思ってたんだけど……。
ひとみ 強盗するよつな人に知り合ひなんかいらなよ？
あい いや、知り合ひどつか、何どつか……。
ひとみ 何よ。
あい ほら、あの横顔。三日前にも見たと思つたんだけど……。
るい 三日前つて？……ああ……

るい。大風を出してしまつ。オラつてアヒキ、三姉妹の方を回く。

アヒキ どうした？

るい いや、その……ロープが纏くて。
アヒキ お前、きつくしめすぎじゃねえのか？
オラつ そつすかね？

オラつ、立ち上がり、近付こつとする。

るい 大丈夫です。大丈夫です。我慢します。
アヒキ 痛えんだろ？
るい 我慢するので大丈夫です。

オラつ、元の座に戻る。二人、まだ飲み始める。
二人はかなり酔つてきたらしい。

ひとみ ちよつとどーすんのよー？
あい 知らないわよ。どーすんのよー？こんな偶然つてあるわけー？
るい 事実あるんだからしよーがならでしよーどにかく落ち着きなせろ。
あい 無理言わなれどよ。こんなどいつをさがに今までなかつたでしよ。
るい どにかく落ち着きなせろ。このべつぐに気付かれたら、をさがに殺されるわよ。

あい 殺される？

ひとみ 決まってるじゃない。あのバッグ見なせりよ。このバッグと同じくらいの大きさでしょ？こつこつはよ？私達が二億盗んだから、銀行強盗するへみになつたこつこつでしょ？が。

るい しかも、警察に追われる身になつた。と。

あい ええ？それも私達のせい？

るい シッ！いっ！バッグの存在を知られたら最後なんだから。隠し運すしかならんだからね。

あい どうすればいいの？

るい ーゆー時は意識しちやダメ。逆に目立つちやうからね。極力動かずに冷静でいることが大切よ。

あい 意識せずに。

るい 冷静に。……わかつた？

あい うん。

107

三人うなずきあつた瞬間に変な動き。やたら目立つ。

アキとサツ、二人で飲んでいる。が、アキが変な動きをしている三姉妹に気付く。

三姉妹はアキとサツと視線を合わせないようにしながら変な動きを続ける。

やがてサツも気付く。

アキ おい。

三姉妹 はいー？

アキ 何してんだ？

ひとみ な、何つて？

アキ トイレにでも行きてえのか？

あい いえ、その……そんなことはなすけ……。

アキ やつぱロープが痛えんじやねえのか？

サツ、その言葉を聞いて立ち上がり、三姉妹に近付こうとする。

三姉妹、悲鳴を上げる。サツ立ち止まる。

るい 大丈夫です。本当に大丈夫ですから。酒宴をお楽しみください。

サツ、席に戻り、二人、飲み続けようとする。

三姉妹、さらに変な動きを繰り返す。

アキとサツ、しばらくそれを見る

アキ おいー

108

三姉妹 はいー？
アキ ……何隠してる？
あ えー？
アキ お前等、何か隠してるだろ？
あ べ、別に何も隠してなんかいませんけど。

シーとした間。それぞれがそれぞれの考えをしているよう。

アキ やつは何か隠してるだろ？
ひとみ 隠してないって言うてるじゃない。しつこいわねー。
アキ ……後ろか？さつえばお前ら三人、そこから全然動かないもんな。何を隠してる？さつ。
さつ はい。

さつ、立ち上がり三姉妹に近付く。大声をあげたり体を使ってガードするが、さつに引けられ、ポストバッグをとられてしまう。

さつ、ポストバッグを持ってテーブルへ。

フラスターを開けて中身を確認する。シーとした間。

アキ、自分たちの持ってきたバッグと大きさを比べる。

同じくらいの大かさで中身のつまり具合も一緒なので、約2億円が入っていると判断する。それを見ていたさつも同じ考えにたどりつく。

あ あの……。
アキ お前等は知らねえだろうが、ヤクザには二種類あってよ。暴力上等のイケイケヤクザと頭での上がるインテリヤクザでな。法律やら規則が厳しい今はインテリヤクザじゃねえと上ぐがねえんだわ。で、俺は一応インテリヤクザを目指してるわけで……。

あ どうしたのあんな大金！私、初めて見た！

ひとみ あんたは本の当に……

アキ でだ！そんな俺が、身に覚えがあるっただけで短絡的な答えを出すわけにもいかねえんだが……。可能性はキチンと考慮しなまやな。あんた等の誰でもいい。答えてくれ。「1つ」。あんた達は資産家の娘だ。オヤジから受け継いだ財産で生きてる。この金もその内の一部ってわけだ。「2つ目」。拾った。よくコースでやってるよな。竹藪からお金が出てきたっつや。こっだけ周りが山に囲まれてりや、そーゆーこともあるかもしれねえからな。で、「3つ目」。こっかの馬鹿ヤクザの事務所から盗んだっつ可能性もある。3日前にな。他にも可能性はあるが……答えてくれ。正解は何番だ？

シーとした間。

あい ……あ、はい。…えーっと、実は、私達は資産家の娘で、正解は一番でした。

あいのせりふが言い終わるが、終わらなからくらすでさが動く。
さが、テーブルの銃を持って三姉妹に近付き、

さが 嘘をつくんじゃないよーお前等が盗ったんだろーがー

さが、銃を構えようとしたとき、ロープを切った、るい、ひとみ、あいから反撃される。
ひとみ、銃を奪い、るい、首筋をトーンー。
アキ、助けようとするが、ひとみが銃を構える。

ひとみ 動かならでー

あい 同じ悪党でも私達の方が一枚上手だったこととかしらね。
るい どうやらこの場所も潮時のようなね。新しい場所を探しましょつ。
あい じゃ、これ。いただきます。

あい、ホストバッグを取り、つはるいに渡す。

ひとみ、銃をアキに回けたまま、アキよりも下手く移動。
あいとるいも続く。

ひとみ 残念ね。こんなことなら私にお酌でも頼んどけばよかったのに……ねー

ひとみ、アキの尻を蹴る。悶絶するアキ。

ひとみ さ、逃げましょつー。
るい あいちゃん、車出してー。
あい 了解ー。

三姉妹、下手くはける。
はけた先で車のみのせりふ
ひとみ「ちよつとあいー早く鍵だしなせらちー」
あい「待つても無らせならでー」
るい「あいちゃん、そちの米ケツトじゃならぬぞ」
あい「あ、あつたーさ、早く乗ってー」
その会話の間、痛みに耐えながら体を起すアキ。

アキ リアルに痛えよ……。アジじゃねえかよ。何だもアツ……。

アキ、ブツブツ文句を言しながらサツの所へ

アキ おい、サツーあつさり気が来つてんじゃねえよーサツー。

サツ え、あ、アキーあいつらは。

アキ バック持って逃げやがった、追っぞー。

サツ はいー。

アキとサツ、下手くはける。舞台、薄暗し明りじ。

上手より三姉妹が現れる。センターの右へ。車代わり。

ひとみ ちよつとあしー早く鍵出したせうもー。

あし 待つても、あせらせなうでー。

るし あしちゃん、そちのボケットじゃない。

あし あ、あつたーさ、早く乗って

三人、車に乗り込む。あし、運転席。ひとみ助手席。るし後部座席。

ひとみ カギカギー先に鍵かけてー。

あし わかっているーのー。

ひとみ 出して出してー早く早くー。

あし もつ、つとせうーるし姉を驚かせてもー。

るし ひとみ、少し落ち着きなせう。

ひとみ 落ち着いている場合じゃなうでしもー。早く出したせうもー。

あし わかったわよー。

あし、車を発進させる。荒し運転。

ひとみ、後ろを見る。

ひとみ あ、あいつら出てきたもー。

あし 追っつきまう。

ひとみ しゃ、逆方向に走っているけん……。

るし あつちに車とめてあるんじゃない。

ひとみ そつだもーまつとそつだもーあし、まつと急いでー。

あし 十分急いでますー
ひとみ だって、あしから絶対遅ってくるもー
あし これ以上スピード出したらそこの方が危ないってーのー
るし とにかくあしちゃんは運転に集中してー
あし 了解ー

三姉妹、荒い運転を続ける。上手よりアキとサツが入ってくる。上手の台ぐ。車代わり。
サツ、鍵を出し、ドアを開ける。アキとサツ、車に乗り込む。

サツ チクシヨウ、あしつ等、馬鹿にしやがってー
アキ 同じ奴らにまたる儂取られましたなんて、シヤリにならねえからなー
サツ せつてま落として前つけてやるー

サツ、車を発進させる。荒い運転。

アキ サツー。目じつぱり飛ばしてけー
サツ あしよおー
アキ じのまま金が用意できなまや終りなのは 一緒だからなあー

サツ あしよおー
アキ だったら事故って死ぬ方がマシだろつがあー
サツ あしよおー
アキ サツうー
サツ あしよおー
アキ 行けええええー
サツ あしよおおおおおー

サツ、アクセルを目じつぱり踏む。激しいタイヤの音。ハンドルを左に右に。荒い運転。
大音量。音、ピタッと止まり、アキ、サツ、同時に。

ア・サツ いたあー
ひとみ あ、きたきたきたきたーあれ、あしつ等じゃならー？
るし 相当飛ばしてるわね。まことそつもー
ひとみ あしーもこと飛ばしなぞらー。コーも、コーッー
あし これ以上無理だってー
ひとみ つかまこと死ぬのも事故って死ぬのも 一緒でしょー
あし だって今度は1つちも銃持ってるじゃん

るい 車にもっと凄じ武器積んでたらどうすんのよー
あい あ、そっかー
ひとみ いーから行きなさいーもつづーキなんて踏まなくてーからー
あい 無茶言わないでよーゲーセンじゃなんだからー
ひとみ 無茶もくちマもならわよーアクセル全開よーアクセル、全開ー
さつ 追いつきましたよアニキー
アニキ よくやったー！そのままシフトシフトあおつてやれー
さつ はいー
アニキ 俺達に捕まるのが先か、事故るのが先か、見ものだなあ、さつー
さつ はい……………あ、でもアニキ…………
アニキ あー？
さつ 弾三発くらい残ってたと思つたすけど…………。向こう、車とめて撃つてきたらやぶくなりすか？
アニキ さつースピードゆるめるなー！そのままけー事故らせるー止まらせるなー
さつ は、はいー

さつ、再びアクセル全開ー

ひとみ うわっスピード上げてきたーあれっつける気じゃなしー？ね、あれっつける気じゃなしー

あい えっ嘘ー？

あい、バックミラーで確認する。

るい あいちゃん、いーから前だけ集中してー
あい だつて気になるんだもんー
るい 状況はお姉ちゃんたちが説明するからー
あい やめてー余計気になるー
ひとみ あいー急いでー！コーよ、コーッー
あい もう、運転変わつてよー！

下手にターリ、どじゅん登場。

一幕の後半部分のセリフ。

ターリ、で、俺はぞ、最初には心を閉ざしていただけ、長い入院生活で考えが変わる訳ですよ。じゅんちゃん
の献身的な看護と優しさに慣れてね。無事手術が成功して、元気になつて、いよいよ退院の日。廊
下でバツタリ俺に会つて「言」

じゆん チカ、あかん。
 ダーリン そこのまでの正気はならぬ。ついで最近まで死ぬか生きるかの瀬戸際だったんだから。
 じゆん だつてやりそこじゃん。
 ダーリン 顔で判断しないでくれるさそこじゃなくて、選院する患者に向かってかける 言葉。
 じゆん お前はもう、死んでる。
 ダーリン 選院するの……正気になつたの……
 じゆん じつものにホトトもらががですか？
 ダーリン まだ無理……言が受けつけならぬ……
 じゆん オッス……オの悟空
 ダーリン 今さら自己紹介かよ……
 じゆん オうに正気を分けてくれ。
 ダーリン まだ無理……死んじやつよ……選院する患者にかける 言葉だも。定期検診取れずじ、とか正気
 になつて良かったですなとかあるでしよとじゆんちゃんなりの 言葉。ちん、はじ。
 2人 チカ、あかん。
 ダーリン 言つと思つたよ。

世界が変わる。

かつ おおひやあー

車のクワッ、ハゴ音。かつ、車をぶつける。三姉妹悲鳴。

あい やめてよ……の車気に入つたの……

ひとみ 言つてる場合じゃなうでしよ……少しは右に振るとか左に振るとかして避けなせらちねー

るい それじゃ余計に危なうでしよ……

アキキ もつじやーかつ、もう 下ろつてやれー

かつ あいよおおおおー

車のクワッ、ハゴ音。三姉妹の悲鳴

ダーリンとじゆんのやりつ。(車に気付く)

じゆん ねえ、あれ車じゃなうか？

ダーリン え？

じゆん ほら、あれ。車でしよ。

ダーリン あ、本当だ……

じゆん 2台来てるさうじつロードだよ。チヤ、ハゴ、やないか？

ダーリン　じゃ、いつかーのーで…で…で行く。
じゅん　分かった。
ダーリン　じゅんちゃん。今までありがとう。楽しかったよ。不幸な人生ではあったけど、笑って死ぬるのはじゅんちゃんのおかげだ。

車のクワッパ音。三姉妹の悲鳴。

あ　もう後ろホロホロじゃない？
る　とりあえずあいちちゃんが貼ってたキライちゃんのシールは原形をどめてならね。
あ　ええー！あれ気に入ってたのに…
ひとみ　シールなんてどーでもいいでしょー命がかかってんのよー命が…
あ　じゃあひとみ姉え新しいの買ってよねー。
ひとみ　無事生きて残れたら十枚でも二十枚でも買ってあげるわよー。
サ　あいつ等もつホロホロすねー。
アキ　もう　「息だサ」！気が抜くんじゃねえぞー。
サ　はー。
アキ　……おじ。この先、……あそこ、見えるか？
サ　え、どっすか？

アキ　このちよつと行った先、あそこには急カーブがあるだろ。
サ　え……ああ、あそこすね。
アキ　あそこを思いっきりぶつけてやれ。それで終わりだよ。
サ　分かりましたー。
る　ちよつと、この先、くアッパカーブがあるから気を付けてよねー。
あ　気を付けるつたつてしーすんのよ、このスピードでー。
ひとみ　にはイチがバチかよー！フーキーでドリフトして行きまじやうー。
あ　私、走り屋じゃないんだけどー。
ひとみ　だからイチがバチかよーあいつらだつてそすがにあのカーブはスピード落とすぞよー。
る　やるしかないわー。
あ　あのねえー失敗しても恨まなうぞよー。
る　ひとみ、一応、車の重心を右に傾けるわよー。
ひとみ　わかったー。
る　さあ、覚悟を決めなさいー。
アキ　覚悟しろやああああああー。
る　3、2、1、！
アキ　行けええええー。
サ　ウオオオオオオオー

ダーリン ああ、間に合わないう……で……で……で……だ……
2人 で……

じゅんだけ飛び出し、倒れる。

ひとみ あい……人……

あい え……危ない……(きゃあ……)

あい、急ハンドルを切る。激しくズレる音。

サツ 馬鹿……何やってんだよ……

アキ サツ危ねえ……

全員悲鳴。大クラッシュ音。全員台から飛び降りる。

そのまま上手くはける。はけた後、ホストバッグを二の左手から下手のダーリンの方へ投げる。

倒れているじゅん。ゆつくり頭だけ上げる。辺りを見回す。

ダーリン、右手を差し出してじゅんを起す。

じゅん うわあ……二のやだよ……

じゅん、上手、センターの近くを口へ。

じゅん 飛び込み失敗……

ダーリン ……そつだね。

じゅん 何か……悪い……

ダーリン ……うん。

じゅん ……生きてるかな……

ダーリン ちあ……

じゅん どうする……

ダーリン どうする……どうしよう……

ダーリン、センターへ行くとしたとき、バッグが壁に当たる。

ダーリン、かがんで、バッグの中身を見ようとする。

じゅん え、ダーリン、そんな……

ダーリン 身分があるものがあるかもしれないから……

じゆん そつか、そつだね。じゃ、私は「こちを……」

二人、バッグの中身を確認する。札束がぎっしり詰まっている。

じゆん 何、これ……お金……

ダーリン お金だね……

じゆん 何でこんな大金が……

ダーリン さあ。

じゆん、何かを思いついて、ガバッとダーリンの両腕をつかみ、

じゆん 私達は「三」に「し」なかつた

ダーリン は……

じゆん 私達は「三」に「し」なかつた。

ダーリン 何言ってるの……

じゆん ね、ダーリン。これ持って山降りよ。山降りて帰るのも。

ダーリン じゆんちゃん……

じゆん これ、……ね、ダーリン、これ幾ら位ある……

ダーリン 分かんないけど……だいたい4億位じゃないかなあ……

じゆん でしょ……そのくらいあるんでしょ……だったら帰るのも……これだけあれば銀行にお金返せるし、
やん……問題にならないじゃん、事件にならないじゃん……

ダーリン いや、もう事件にはなってるけど……

じゆん でも問題にならないじゃん、一億返すんだから。それより、まっとうダーリン、ヒーローだよ。
ヒーロー。

ダーリン ……なんで……

じゆん なんでって……そりゃあ、人のお金だけど、まっとうの人たちも分かってくれるよ……山降りたら
救急車呼ばせ、そのおれ……です。……でも、ダーリンが……して……も……して……なら。

ダーリン いや、まっとうじゃなくて、俺が……して……て……聞いたのは「何で銀行に返れなまやなんなの」……です。

じゆん え……

ダーリン はい、じゃ。別に返さなくていい。

じゆん ……え……

ダーリン これだけあれば、一生遊んで暮らせるし。

じゆん ダーリン……やっぱり私が見込んだだけの……し……は……ある……わ……

ダーリン そう……

じゆん ダーリンには裏がある裏がある……って……も……思……っ……て……だ……け……ん、……ま……ち……が……本……当……の……懸……賞……と……は……ね。

ダーリン え……じゆんちゃん、そんな目で俺を見たの……

じゆん そりゃそつよ。ちつちつとそつじやない。
ダーリン ちつちつと。
じゆん 飛び込みの時。
ダーリン ああ……へしたか。
じゆん 一億の保険……かけてたのはダーリンじゃなくて、私でしょ。
ダーリン おおーするじいー。
じゆん 何度もでつでつて言つて同時に行くと聞かせかけて、私だけ飛び込ませよつとして。結局ダーリン飛び込まなかつたじやない。
ダーリン ちよつと……そこまで分かつてるんなら飛び込まなまやよかつたのに。くたしたら本当に死んでたかもしれなうでしょ。
じゆん いいの。
ダーリン え。
じゆん それくらいダーリンにじつじつとつてつてつてよ。
ダーリン まいつたなあ……。じゃ、いつか利用させてもらつね。
じゆん 喜んで。でも、それまでの人生はつんと刺激的に楽しませてよー。
ダーリン わかつた。ま、化けの皮も剥がれたじつじつ、刺激的にねー。

じゆん、上手に向かつて

じゆん じゃ、そういつじつとなんで御免なさいね。正気だね。……正気だねつて言つても無理な話よね。

じゆん、ダーリン、つづつバックを持つ

じゆん おお、これが一億円の重みかあ。
ダーリン じゆんちゃんもなかなかの性格してるよね。
じゆん そう。
ダーリン 山降りるのが大変だ。
じゆん いいじやない。これからのじつ話しながら行きましようよ。私達の悪覚人生の始まりよー。
ダーリン 悪覚人生ねえ……。
じゆん そうよ。つまんない人生はもう終わり。いつか必ず天罰が下るだらうけど、天罰が怖くて悪覚がやれるかいーつてね。
ダーリン ねえ、じゆんちゃん。
じゆん ん。
ダーリン もう名前は忘れちゃつただけと有名なキヤンツワ一の言葉でせ、好きな言葉があるんだ。
じゆん へー。何？
ダーリン 人生は勝負の連続である。勝負に勝つには神に選ばれなければならない。ただ、正しき者にと

くて不運なのは、勝負の神は人を見る目がなく、高い確率で悪党が選ばれる。悪党は常にあなたの側にして、あなたの隣りでは天使の微笑みを浮かべ、あなたの後ろで舌を出し、あなたの前に現れた時……その時はすでに遅く、自分が騙されていたことに気付くだろう。

音楽「金魚の箱」

ターリン、じゅん、客席をゆつくり上手から下手く、下手から上手く眺める。
そして、バグダを握りしめ、空いている手で手を取り合ひ、下手く走り去る。

幕